



2020年度
年次報告書

2020.9 - 2021.8

日 中 韓 三 国 協 力 事 務 局



Trilateral
Cooperation
Secretariat

2020 年度
年次報告書

日中韓三国協力事務局
한중일 3국협력사무국
中日韩合作秘书处



Trilateral
Cooperation
Secretariat

日中韓三国協力事務局（Trilateral Cooperation Secretariat : TCS）は、2010年12月に日本国、中華人民共和国、大韓民国の政府が共同で署名した「三者間協力事務局の設立に関する協定」に基づき、2011年9月にソウルに設立された国際機関です。本年次報告書には、2020年度（2020年9月から2021年8月まで）におけるTCSの活動が掲載されています。

本報告書では、日中韓の国名をアルファベット順に並べることを原則とします。ただし、議長国や訪問順などによって順番を変えることがあります。

目次

> 刊行によせて	4
> 日中韓三国協力事務局の紹介	6
> 2020年度ハイライト	10

I. 三国政府間協議の枠組みへの支援

1. 政治	14
2. 経済・持続可能な開発	19
3. 社会・文化	26

II. 三国協力事業の探求及び実施

1. 政治	34
2. 経済・持続可能な開発	40
3. 社会・文化	57
4. 部門横断的事业	66

III. ステークホルダーとの交流及び協力

1. 地域及び国際機関	70
2. 公共団体及びビジネス団体	72
3. 学界	73
4. マスメディア及び広報	74

IV. データベースの構築、研究及び出版

1. 日中韓三国協力進捗報告書（2016～2019）	80
2. 日中韓三国統計集（出版物・ウェブサイト）	81
3. 日中韓ベスト・プラクティス：防災のための最先端技術の応用	82
4. 「中国報道」特別号の刊行（2021年8月）	82
5. TCS10周年記念写真集	83
6. 調査レポート『日中韓地方都市トライアング ル交流2020』	84
7. 日中韓ハンドブック	85

> 2020年度TCS活動及び協力事業一覧	86
> 英文略称一覧	88

刊行によせて

日中韓三国協力事務局（TCS）の2020年度（2020年9月～2021年8月）年次報告書の発行を心から嬉しく思います。本報告書は、第5期協議理事会の主導の下で行われた事務局の活動と行事をまとめたものです。これらの活動が成功したことは、困難に直面しながらも日中韓三国が揺るぎなくTCSを支援してくださったおかげです。

TCSの2020年度の成果は驚くべきもので、コロナ禍にもかかわらず設立10周年行事を進めました。また、かつてないような困難の中でも、政府間協議を着実に支援し、一連の記念活動・行事を積極的に実施することで、三国協力の勢いを保つために全力を尽くしました。この場をお借りして日本、中国、韓国の各政府が寄せてくださった信頼と支援に心から感謝申し上げます。また、日中韓のビジネス、学術、青少年、文化、メディアなど各分野のパートナーの方々にも感謝申し上げます。さらに、国際機関としてのTCSを一から育てた過去の協議理事会に敬意を表します。

2020年度において、三国協力はオンライン協議や対話を続けてきました。2019年の第8回日中韓サミット（中国・成都）に続き、三国の首脳が第23回ASEAN+3（日中韓）首脳会議にそろって出席し、新型コロナウイルスの世界的大流行（パンデミック）を予防して域内の平和、安全、繁栄を保つために努力を



共に傾けるという意志を確認しました。そのほか、第20回日中韓特許庁長官会合、第13回日中韓三国保健大臣会合、第8回日中韓物流大臣会合、第12回日中韓文化大臣会合など一連の閣僚級会合をはじめ、あらゆる分野の多様なレベルで三国協力の枠組みを利用したプロジェクトが開催され、変化する域内情勢にもかかわらず、パンデミック後の経済回復と三国の社会・文化的交流に向けた強い推進力が形成されました。こうした流れにおいてTCSは、与えられた任務に沿ってその機能を忠実に遂行し、本来の役割を果たしてきました。

TCSは設立10周年を迎え、三国協力を一層具体化することに注力しました。TCSが長期にわたり開催してきた旗艦事業である日中韓三国協力国際フォーラム（IFTC）が2021年にもオンラインとオフラインのハイブリッド形式で成功裡に開催され、日中韓の外相に祝辞をいただきました。また、TCSは、6回にわたって設立10周年記念シンポジウムを開催し、域内協力、農村の活性化、高齢化社会、都市再生など三国が直面する共通の懸案と課題について議論しました。さらに、『設立から10年の足跡：日中韓三国協力事務局記念写真集』を発刊するとともに記念写真展を開催してTCSの歴史と成果を紹介し、三国協力和TCSへの認知度を高めました。

この10年間の三国協力は、中核となる首脳会議と21の

閣僚級会合、そしてそれをTCSが支える形で、全方位の協力枠組みに発展し、域内の平和や安定に向けた重要な役割を果たしてきました。そして、中国、日本、韓国は、協力により如何に多くのことを達成できるかを証明してきました。今後潜在的な協力が生まれる肥沃な土壌の大部分が手つかずのまま残っていることから、我々是一緒に成し遂げられる多くのことに注目しなければなりません。韓国、日本、中国において立て続けに開かれたオリンピック・パラリンピックを成功させ、地域的な包括的経済連携（RCEP）協定を履行することで、三国の国民の利益を増進する三国協力の新たな機会を迎えることができるでしょう。第6期協議理事会とTCSの全職員は、三国協力を強化するため、また、友好的で協力的で未来志向的な三国関係に寄与するために全力を尽くしてまいります。TCSが引き続き任務を果たし、未来のビジョンに向かって前進できるよう先頭に立ってまいりたいと思っています。皆様の温かいご関心とご声援をこれまでに増してお願い申し上げます。



欧 渤芊（オウ・ボーチエン）

日中韓三国協力事務局 事務局長

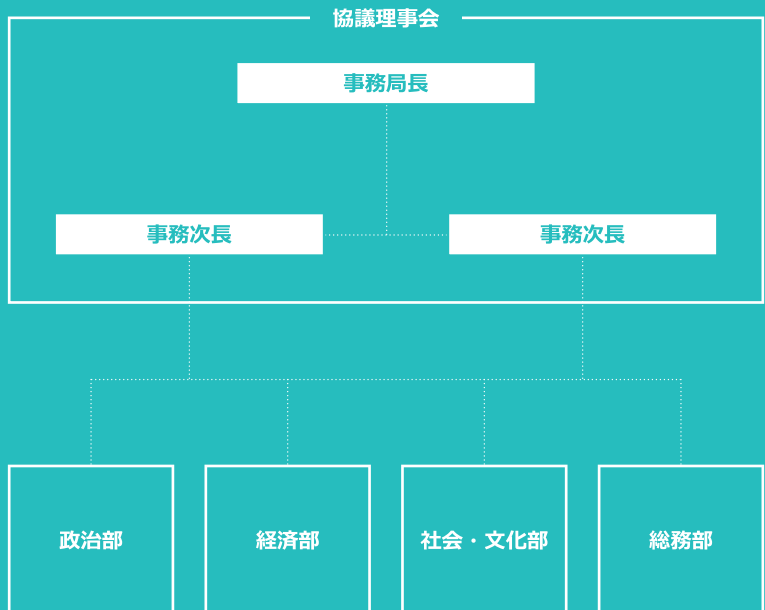
日中韓三国協力事務局（Trilateral Cooperation Secretariat : TCS）は東アジア地域の平和と安定、繁栄を促進するために設立された国際機関です。中華人民共和国（以下、“中国”という）、日本国（以下、“日本”という）、大韓民国（以下、“韓国”という）の三国政府が共同で署名した「三者間協力事務局の設立に関する協定」に基づき、2011年9月にソウルに設立されました。三国が平等な立場に立ち、各国政府が毎年運営予算の3分の1ずつ負担しています。

TCSの目標は、日本、中国、韓国、そして東アジア全域の様々な機関やステークホルダーを包括する三国協力の中心的ハブとしての役割を果たすことです。TCSは、三国間の未来志向かつダイナミックな協力関係をより強固なものとするべく努めてまいります。

主な機能






組織構成



協議理事会

協議理事会は事務局の最高意思決定機関であり、各国から2年ごとに持ち回りで任命される事務局長（SG）1名及び事務次長（DSG）2名で構成されています。



第1期協議理事会 2011年9月 ～2013年8月

事務局長  韓国 | 申鳳吉（シン・ボンギル）
事務次長  日本 | 松川るい
事務次長  中国 | 毛寧（マオ・ニン）




第2期協議理事会 2013年9月 ～2015年8月

事務局長  日本 | 岩谷滋雄
事務次長  中国 | 陳峰（チェン・フォン）
事務次長  韓国 | 李鍾憲（イ・ジョンホン）

第3期協議理事会 2015年9月 ～2017年8月

事務局長  中国 | 楊厚蘭（ヤン・ホウラン）
事務次長  韓国 | 李鍾憲（イ・ジョンホン）
事務次長  日本 | 梅澤彰馬




第4期協議理事会 2017年9月 ～2019年8月

事務局長  韓国 | 李鍾憲（イ・ジョンホン）
事務次長  日本 | 山本恭司
事務次長  中国 | 韓梅（ハン・メイ）

第5期協議理事会 2019年9月 ～2021年8月

事務局長  日本 | 道上尚史
事務次長  中国 | 曹静（ツァオ・ジン）
事務次長  韓国 | 姜度好（カン・ドホ）

第6期協議理事会 2021年9月 ～2023年8月

事務局長  中国 | 欧勃芊（オウ・ボーチエン）
事務次長  韓国 | 白範欽（ベク・ボムフム）
事務次長  日本 | 坂田奈津子

部署

協議理事会の下に4つの部署があり、三国政府から派遣された管理職員と各国から公募形式で選抜された一般職員で構成されています。



- ・外交
- ・安全保障
- ・地域情勢
- ・国際情勢
- ・防災
- ・シンクタンク・ネットワーク
- ・メディア及び広報



- ・貿易・投資
- ・運輸・物流
- ・税関
- ・知的財産権（IPR）
- ・情報通信技術（ICT）
- ・財政・金融
- ・科学技術
- ・標準化
- ・エネルギー
- ・消費者政策
- ・環境保護
- ・農業
- ・水資源
- ・森林・林業



- ・文化
- ・青少年交流
- ・教育
- ・保健・福祉
- ・観光
- ・地方自治体交流
- ・人事行政
- ・スポーツ



- ・企画・調整
- ・人事
- ・行政・法務支援
- ・予算・会計
- ・文書管理

沿革

2009.10

三国協力のための常設事務局の必要性を確認

第2回日中韓サミットで、三国協力のための常設事務局設立の必要性について合意（中国・北京）

2010.05

「三者間協力事務局の設立に関する覚書」

第3回日中韓サミットで、「三者間協力事務局の設立に関する覚書」を発表（韓国・済州）

2010.12

「三者間協力事務局の設立に関する協定」

三国政府が「三者間協力事務局の設立に関する協定」に署名（韓国・ソウル）

2011.09

TCS設立

TCS設立記念式典（韓国・ソウル）



2013

TCSが日中韓文化大臣会合（韓国・光州）、日中韓三国保健大臣会合（韓国・ソウル）に初参加

以後、TCSはこれらの会議に継続的に参加

2014

TCSが日中韓特許庁長官会合（韓国・ソウル）、日中韓三力国環境大臣会合（韓国・大邱）に初参加

以後、TCSはこれらの会議に継続的に参加

2015

TCSが日中韓原子力安全上級規制者会合（韓国・ソウル）、日中韓人事行政ネットワークトップ会談（韓国・ソウル）、日中韓観光大臣会合（日本・東京）に初参加

以後、TCSはこれらの会議に継続的に参加

2016

TCSが日中韓教育大臣会合（韓国・ソウル）、日中韓スポーツ大臣会合（韓国・平昌）に初参加

以後、TCSはこれらの会議に継続的に参加

2011.10

TCS主催で第1回日中韓三国協力国際フォーラム (IFTC) を開催 (韓国・ソウル)

TCS主催でこれまで9回にわたり日中韓三国協力国際フォーラムを開催

TCSが日中韓防災担当閣僚級会合に初参加 (日本・神戸)

以後、TCSは同会議に継続的に参加

2012.05

TCSが第5回日中韓サミットに参加 (中国・北京)

以後、TCSは同会議に継続的に参加

TCSが日中韓外相会議 (中国・寧波)、日中韓経済貿易大臣会合、日中韓農業大臣会合 (韓国・済州)、日中韓水担当大臣会合 (フランス・マルセイユ)、日中韓物流大臣会合 (韓国・釜山) に初参加

以後、TCSはこれらの会議に継続的に参加

2013.10

TCSが第16回ASEAN+3サミットに参加 (ブルネイ・バンダルスリブガワン)

以後、TCSは同サミットに継続的に参加



2016.09

TCSが日中韓三国協力シンクタンクネットワーク (NTCT) 会議に参加

TCSはNTCTの国別代表者会議でコーディネーターを務めている

2018.05

TCSが日中韓情報通信大臣会合 (日本・東京) に初参加

以後、TCSは同会議に継続的に参加

2019.12

TCSが日中韓科学技術協力担当大臣会合 (韓国・ソウル) に初参加

2020.07

TCS主催でオンラインセミナー「新型コロナウイルスへの対応～日中韓の経験とベスト・プラクティス～」を開催

2021

TCS設立10周年

2020年度ハイライト

2021年、TCSは設立10周年を迎えました。この10年間、TCSは5つの任務を履行し、三国協力の中心的役割を果たしてきました。今後、三国協力はよりダイナミックで強固なものになり、事務局の役割も拡大するでしょう。ここで、2021年にかけて開催されたTCS設立10周年を記念した様々な活動と行事をご紹介します。

日中韓三国協力国際フォーラム（IFTC）2021



日中韓三国協力国際フォーラムは、TCSが主催する旗艦事業のひとつであり、三国協力に関する認知度を高め、過去の成果を振り返り、未来志向の政策提言を模索する貴重な機会となっています。2021年のフォーラムは4月27日に、「TCS設立10周年を迎えて：次の10年に向けた新たな日中韓パートナーシップのあり方」をテーマに、ソウルのオフライン会場を使い、オンライン・オフラインのハイブリッド形式で開催しました。

TCS 設立10周年記念シンポジウム・シリーズ



- Vol. 1** 道上尚史TCS事務局長と張済国東西大学総長との対談～三国協力と青少年交流～
- Vol. 2** 日中韓における都市再生：傾向と事例
- Vol. 3** 日中韓企業家フォーラム2021
- Vol. 4** 日中韓三国協力：平和と繁栄に向けて
- Vol. 5** 日中韓における農業の発展と農村活性化～コロナを超えて
- Vol. 6** 地方都市間における三国協力の推進

TCS10周年記念映像



TCS10周年を記念する4分間の映像を制作しました。TCSの歴史と成果、そして今後10年の展望を紹介する映像です。2021年に開かれた様々な10周年記念イベントで上映し、TCSの歴史を振り返るとともに、三国協力推進の重要性に対する一般市民の理解を深めました。

 TCS10周年記念映像ダウンロードリンク: <https://10th.tcs-asia.org/10th/en/sub/02.php>

TCS10周年記念写真展、10周年記念写真集



TCSは、三国協力とTCSに対する認知度を高めるため、チョンドン（貞洞）1928アートセンターと在韓国日本国大使館においてTCS10周年記念写真展を開催しました。

『設立から10年の足跡 ：日中韓三国協力事務局記念写真集』



全3種類（中国語-英語、日本語-英語、韓国語-英語）の写真集で、TCSの10年間の取組みと成果を紹介しています。日中韓サミット、閣僚級会合、政府間協議、政治・経済・社会・文化分野の協力事業を網羅しており、TCSと三国協力の推進力とダイナミズムを感じ取っていただけます。

「中国報道」特別号 ：『日中韓三国協力—新たな10年に向けて』



「中国報道（China Report）」特別号を4カ国語（中国語、日本語、韓国語、英語）で刊行しました。日中韓の元大使や研究者、ジャーナリスト、市民社会の代表がTCS及び三国協力の成果とハイライトを振り返りつつ、次の10年に向けた協力に関する提案と展望を示しました。

日中韓物流協力公式ウェブサイト



2021年8月に開設した日中韓物流協力の公式ウェブサイトは、一般市民が日中韓の運輸・物流協力に関する情報を得る窓口となるだけでなく、関連省庁間の調整や政策連携を円滑にするオンラインプラットフォームの機能を担っています。このウェブサイトは、日中韓物流大臣会合での合意に基づきTCSが行ったフォローアップ事業で、中国交通运输部、日本国土交通省、韓国海洋水産部との緊密な連携を得て開設しました。

☐ ウェブサイトのアドレス: <https://www.cjk-tl.org>



日中韓三国協力事務局
2020年度年次報告書



三国政府間協議の 枠組みへの支援

「三箇国首脳会議、三箇国外相会議、三者委員会その他の閣僚会議、三箇国外務高級実務者協議等の締約国政府の間の協議の仕組みの運営及び管理に対して事務的及び技術的な支援を提供し、並びに必要に応じて主要な協議の仕組みにその代表を参加させること。」

「日本国政府、中華人民共和国政府及び大韓民国政府の間の三者間協力事務局の設立に関する協定」第三条第1項 (a)

01 政治

+ 首脳会議及び外交



2020年度において、TCSは主要な政治・外交議題に関し、三国の外交当局と様々なレベルで緊密にやりとりしました。三国外交当局間の定例政策協議のほか、三国首脳会議、ASEAN+3首脳会議、三国外相会議、高級実務者会合を促進し、これらに参加しました。

第23回ASEAN+3 首脳会議

道上尚史事務局長率いるTCS代表団は、2020年11月14日にテレビ会議形式で開催された第23回ASEAN+3首脳会議（The 23rd ASEAN Plus Three Summit）に招待されました。TCSがオブザーバーとして参加した同会議では、各国首脳がASEAN+3の協力状況や域内外の懸案を検討するとともに、今後進むべき方向性について発言しました。また、各国首脳は、新型コロナウイルス感染症の効果的な制御と予防について、ASEAN+3メカニズムの役割を強化することで合意しました。さらに、ASEAN諸国の首脳は、「新型コロナに関するASEAN対応基金（COVID-19 ASEAN Response Fund）」や「公衆衛生上の緊急事態のためのASEAN地域医療物資備蓄（Regional Reserve of Medical Supplies for Public Health Emergencies）」などの共同対処イニシアティブの実施における日中韓三国の貢献を高く評価しました。そして、多国間協力を続け、コロナ後の復興を進める重要性を確認し、「地域的な包括的経済連携（RCEP）」への署名を歓迎しました。




ASEAN+3の枠組みは、1997年12月にASEANと日中韓の首脳が非公式首脳会議を行ったことから始まりました。ASEAN+3首脳会議は、様々なレベル及び分野における東アジアの協力を強化するため、1999年から定例化されました。

概要

開催日 2020年11月14日

形式 テレビ会議

参加者  ASEAN10力国の首脳

   韓日中の首脳

結果 - 「第23回ASEAN+3首脳会議議長声明」

- 「新たな課題に対する経済・金融強靱性のためのASEAN+3協力強化に関するASEAN+3首脳声明」



✦ 非伝統的安全保障



相互に隣接する中国、日本、韓国は、防災、原子力安全、地震災害対策などにおいて三国間協議の枠組みにより協力しながら、関連省庁・機関の能力を強化してきました。これに対しTCSは、実務者会合、共同訓練、効果的な調整や地域のキャパビルのためのセミナーを実施し、これらの枠組みを支援してきました。

第5回日中韓 サイバー政策 協議

TCSは、第5回日中韓サイバー政策協議（Trilateral Cyber Policy Consultation）にオブザーバーとして参加しました。同協議では各国のサイバーセキュリティ戦略、国際的なサイバー問題、今後の協力可能な分野に関する議論が行われました。

日中韓サイバー政策協議は、2013年に中国が提案し、2014年に第1回協議が開催されました。同協議では各国のサイバー政策や模範事例を紹介しており、サイバー分野での相互信頼醸成と三国協力を強化する場となっています。2020年までに計5回の協議が開かれました。

概要

開催日 2020年12月9日

形式 テレビ会議

参加者  日中韓の外交当局及び関係省庁

- 議題
- 各国のサイバーセキュリティ戦略、関連施策及び関連機関に関する情報交換
 - 国連サイバー政府専門家会合（UNGGE）、信頼醸成やキャパビル強化といった国際的・地域的取組み
 - 三国協力の可能な分野



日中韓原子力 安全ウェブ 情報交換会合

2020年日中韓原子力安全上級規制者会合（TRM）が新型コロナウイルス感染症の感染拡大で開催されなかったことから、TRMの枠組みのもとで日中韓原子力安全ウェブ情報交換会合（Trilateral Web-Based Information Exchange Meeting on Nuclear Safety）がテレビ会議の形で開催され、TCSはオブザーバーとして出席しました。同会合で三国の機関は過去一年の原子力安全に関する取組みを紹介し、共通の関心事項について意見交換しました。また、TRMの枠組みのもとで、原子力安全に関する三国協力を強化することで合意しました。


日中韓原子力安全上級規制者会合は、2008年9月に発足して以来、原子力の安全規制における課題や技術、原子力安全のための地域協力の強化に関する情報交換を行っています。同枠組みのもと、技術専門家会合であるTRMプラス、合同防災訓練（JED）のほか、人材育成に関する作業部会（WGHRD）、オンライン情報交換枠組みに関する作業部会（WGOIS）、緊急時対応に関する作業部会（WGEPR）の3つの作業部会があります。

概要

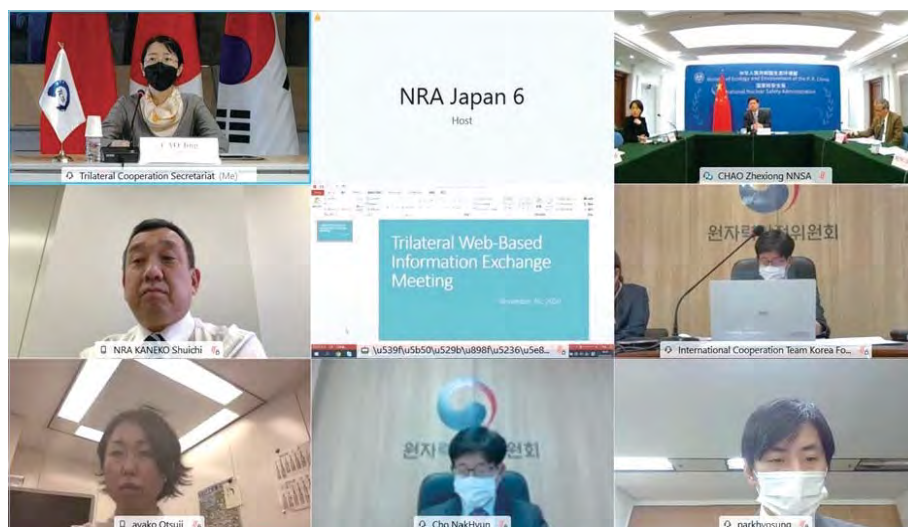
開催日 2020年11月26日

開催地 オンライン

参加者  日本・原子力規制委員会（NRA）（主催）

 中国・生態環境部/国家核安全局（MEE/NNSA）、中国・環境保護部核・放射安全センター（NRSC）

 韓国・原子力安全委員会（NSSC）、韓国原子力安全技術院（KINS）



＋ 防災



災害リスクの軽減に向けた努力はあらゆるレベルで促進されるべきであり、地域的・国際的協力により包括的なアプローチを取る必要があるという認識が広がっています。日中韓は海を隔てて隣接していることから、災害に効果的に対応し、リスク軽減措置を実施し、地域において強靱な社会と安全な環境を構築するため、国境を超えた緊密な地域協力が不可欠です。

2021日中韓防災担当実務者会議


TCS主催による2021日中韓防災担当実務者会議（Trilateral Working-level Consultation Meeting on Disaster Management）が、2021年3月25日にオンライン形式で開催されました。各国防災当局の代表者は、大規模災害に対処した経験のほか、前回閣僚級会議のフォローアップ事項と、今後の協力に関する提案を共有しました。また、日本で開かれる第7回防災担当閣僚級会合の準備に向けた意見交換が行われました。

日中韓防災担当実務者会議は2018年にTCSが発足させた枠組みで、隔年で開かれています。次の防災担当閣僚級会合に向けた準備、防災政策の設計、災害復旧段階における経験に関する頻繁な意見交換を目的としています。

概要


開催日 2021年3月25日

形式 テレビ会議

参加者  中国・応急管理部（MEM）、中国・国家防災センター（NDRCC）

 日本・内閣府（CAO）、日本・アジア防災センター（ADRC）

 韓国・行政安全部（MOIS）

 国連防災機関北東アジア事務所・国際教育訓練研修所（UNDRR ONEA-GETI）



12 経済・持続可能な開発

✦ 知的財産権



日中韓三国の特許出願件数は世界の出願件数の半数以上を占めており、世界レベルで知的財産制度を発展させていくに当たり、三国の協力はますます重要になっています。日中韓特許庁長官会合（TRIPO）は、三国の特許庁間の最上位の協議枠組みです。また、TRIPOのほかにも知的財産分野の三国協力に向けた様々な実務者会議が開催されてきました。TCSは、2014年から日中韓特許庁長官会合に出席し、三国協議枠組みを支援してきました。

第20回日中韓 特許庁長官会合

第20回日中韓特許庁長官会合（TRIPO Heads Meeting）が韓国特許庁の主催で2020年12月1日に開催されました。発足20周年を迎えた同会合には日中韓の知的財産（IP）担当機関のトップが出席しました。

TCSの道上事務局長は、開会式で祝辞を述べ、コロナ禍でも三国が知的財産に関する協力を継続的に拡大していることに感謝と敬意を表し、知的財産業務に関する三国協力を支援していくと表明しました。

概要

2001年から始まった日中韓特許庁長官会合は、三国が持ち回りで毎年開催しています。同会合では人材育成、商標、特許審判、意匠など知的財産分野における協力を強化しています。会合後は、知的財産業務や政策の変化と発展を紹介する公開イベントであるユーザーシンポジウム（User Symposium）が開催されます。

開催日 2020年12月1日

開催地 オンライン

参加者  韓国・特許庁（主催）

 中国・国家知識財産権局

 日本・特許庁



+ 運輸・物流



三国は、運輸・物流に係る多くの分野で長きにわたって協力を行ってきました。三国は日中韓物流大臣会合の枠組みのもとで、北東アジア港湾局長会議のほか、北東アジア港湾シンポジウム、北東アジア物流情報サービスネットワーク（NEAL-NET）専門家会合など、行動計画（Action Plans）に沿った包括的フォローアップの枠組みを発展させました。

TCSは、2012年に行われた第4回日中韓物流大臣会合から同会合に参加しており、協力事業の探求・実施により積極的にその役割の強化に努めています。

第8回日中韓 物流大臣会合

第8回日中韓物流大臣会合（China-Japan-Korea Ministerial Conference on Transport and Logistics）が2021年8月20日にオンライン形式で開催され、TCSの道上事務局長がオブザーバーとして参加しました。

会合において道上事務局長は、日中韓三国協力の近年の進展を紹介し、TCSが三国の関係省庁と緊密に連携しながら進めてきた日中韓物流協力公式ウェブサイトの開設について報告しました。道上事務局長の報告を受け、三国の大臣はTCSの成果を高く評価し、ウェブサイトが物流分野における官民レベルで連携強化のプラットフォームとして機能することへの期待を述べました。また、三国の大臣はTCS設立10周年を祝し、様々な分野で三国協力の推進に果たしたTCSの取組みを評価しました。

会合において、三国の大臣は、新型コロナウイルス感染症及び気候変動が国際・国内の物流に与える影響について意見交換し、1) 強靱な物流ネットワークの推進、2) シームレス物流システムの実現、3) 環境にやさしい物流の構築といった3つの新しい主要目標の下で、運輸・物流分野における三国間の連携強化に向けた具体的な方策について議論

しました。また、同会合では、「第8回日中韓物流大臣会合共同声明」が採択されました。その後、日中韓物流発展フォーラム（China-Japan-Korea Logistics Development Forum）が日本・神戸市主催で行われました。


概要


日中韓物流大臣会合は2006年に始まり、その後、隔年にて開催されています。同会合では、「強靱な物流ネットワークの推進」、「シームレス物流システムの実現」、「環境にやさしい物流の構築」を物流分野における三国協力の3つの主要目標として掲げています。

開催日 2021年8月20日

開催地 オンライン

参加者  日本・国土交通省（主催）

 中国・交通運輸部

 韓国・海洋水産部



第8回日中韓物流大臣会合の準備会合（課長級会合）




TCS代表团は、日本の国土交通省主催で2021年1月から8月まで開かれた第8回日中韓物流大臣会合の準備会合（課長級会合）（Directorial Meetings for the 8th China-Japan-Korea Ministerial Conference on Transport and Logistics）に出席しました。同会合で三国は第8回日中韓物流大臣会合の準備計画について議論し、緊密な協力への意志を再確認しました。出席者はまた、近年の社会環境の大きな変化と、新型コロナウイルス感染症がもたらした運輸・物流の課題に対応する各国の対策について意見を交換しました。

概要

第8回日中韓物流大臣会合の準備会合（課長級会合）1～5回目

開催日 1回目会合 – 2021年1月29日
 2回目会合 – 2021年3月26日
 3回目会合 – 2021年6月25日
 4回目会合 – 2021年7月29日
 5回目会合 – 2021年8月18日

開催地 オンライン

参加者  日本・国土交通省（主催）
 中国・交通運輸部
 韓国・海洋水産部

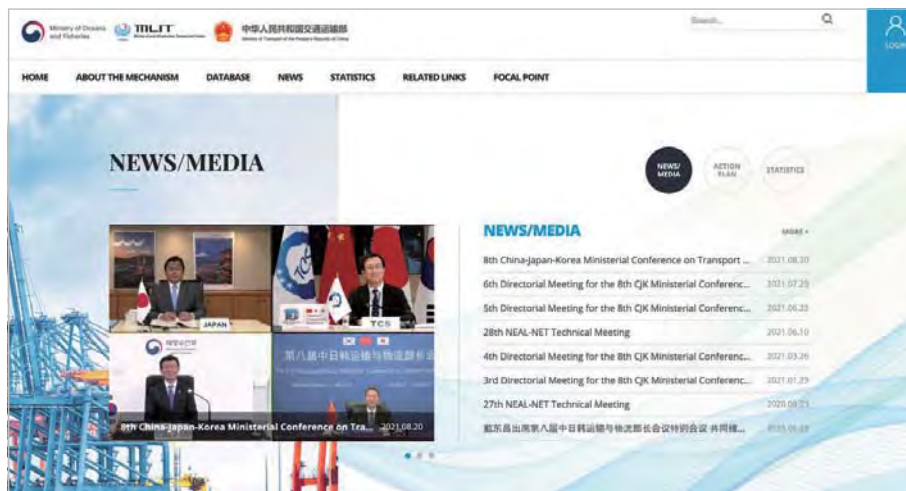


日中韓物流協力 公式ウェブサイト

日中韓物流大臣会合のフォローアップとして、TCSは日中韓物流協力公式ウェブサイト（Official Website for the Trilateral Cooperation on Transport and Logistics）を立ち上げ、8月20日に開催された第8回日中韓物流大臣会合で発表しました。同ウェブサイトは、三国間の運輸・物流協力に関する包括的な情報を提供するオンライン・プラットフォームで、三国間の政策共有・連携促進を図るとともに、三国の国民が物流大臣会合に関する情報にアクセスしやすくすることを目的として立ち上げられました。データベースは、関連分野の専門家及び民間レベルでの研究と情報交換に役立つものとなっています。

日中韓物流協力公式ウェブサイトの立ち上げは、2018年の第7回日中韓物流大臣会合で合意されたもので、TCSが日本の国土交通省、中国の交通運輸部、韓国の海洋水産部と緊密に連携し開発しました。

ウェブサイトのアドレス: <https://www.cjk-tl.org>



✦ 環境保護



日中韓三カ国環境大臣会合（Tripartite Environment Ministers Meeting：TEMM）は、三国共通の環境問題への取り組みを主導しています。TCSは環境大臣会合を支援し、同会合で決められたフォローアップ事業を実施することにより、北東アジアの内外で持続可能性を促進する三国の取り組み強化に貢献しています。TCSは2014年からTEMMに参加しており、現在、特に環境保護に関する一般市民の意識向上に焦点を当てたプロジェクトを推進しています。

第22回日中韓三カ国環境大臣会合（TEMM22）の事務レベル準備会合及び局長級会合

TCS代表団は、2020年9月2日に開催された第22回日中韓三カ国環境大臣会合の事務レベル準備会合（Pre-TEMM22 and Directors General Meeting for TEMM22）に参加しました。同会合で三国はTEMM22に向けた調整を行い、「環境協力に係る三カ国共同行動計画（Tripartite Joint Action Plan: TJAP）2015-2019」の実施結果に基づき、TEMM21で合意した8つの優先分野に関する新しい行動計画について意見交換を行いました。

続いてTCSは、2020年9月25日にテレビ会議方式で行われた第22回日中韓三カ国環境大臣会合の局長級会合（Directors General Meeting for TEMM22）に参加しました。三国の出席者は環境協力の進捗状況を確認し、TEMM22に向けた議論を行いました。TCSの姜度好事務次長は、TCSが共同行動計画の実施に参加して三国の環境当局を支援していく用意があることを強調しました。三国は新型コロナウイルス感染症がもたらした困難のなかでも、TEMM22の成功に向けて相互支援することを改めて確認しました。

概要

日中韓三カ国環境大臣会合は1999年に発足しました。政府、研究機関、市民社会からなる多層的な協力枠組みとなっています。同会合では5年ごとに優先協力分野を選定し、「環境協力に係る日中韓三カ国共同行動計画（TJAP）」に基づいて体系的に協力事業を実施しています。

第22回日中韓三カ国環境大臣会合の事務レベル準備会合

- 開催日 2020年9月2日
- 開催地 オンライン
- 参加者  韓国・環境部（主催）
 中国・生態環境部
 日本・環境省

第22回日中韓三カ国環境大臣会合の局長級会合

- 開催日 2020年9月25日
- 開催地 オンライン
- 参加者  韓国・環境部（主催）
 中国・生態環境部
 日本・環境省



海洋ごみに関する NOWPAP-TEMM （日中韓三カ国環 境大臣会合及び北 西太平洋地域海行 動計画）合同ワー クショップ2020

TCSは2020年12月2日、海洋ごみに関するNOWPAP-TEMM（北西太平洋地域海行動計画及び日中韓三カ国環境大臣会合）合同ワークショップ2020（NOWPAP-TEMM Joint Workshop on Marine Litter Management）に参加しました。同ワークショップは、日中韓三カ国環境大臣会合の枠組みの下にあるワーキンググループの一つです。TCSは2018年から同ワークショップに参加して協力ネットワークを拡大し、中国、日本、韓国、ロシアの政府や国際機関との協力事業を模索しています。ワークショップでTCSは環境と持続可能な開発分野における活動を紹介し、今後の海洋ごみ管理に関する協力について意見交換を行いました。

概要

開催日 2020年12月2日

開催地 オンライン

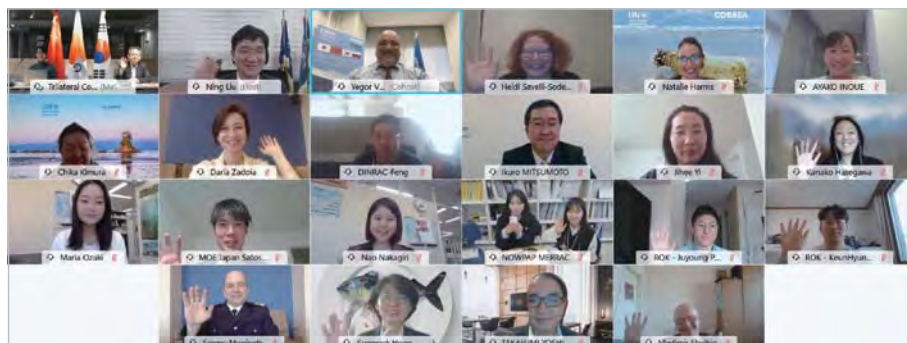
参加者 北西太平洋地域海行動計画地域調整部（主催）
海州州立大学（ロシア）

🇯🇵 日本・環境省

🇰🇷 韓国・海洋水産部

🇨🇳 中国・環境科学院

国連環境計画（UNEP）、バーゼル条約事務局、国連食糧農業機関（FAO）、東アジア海域調整機構（COBSEA）事務局、私たちの東アジアの海洋ネットワーク（OSEAN）、仁渡海洋（Rendu Ocean）



03 社会・文化

+ 文化



日中韓三国は、共通の文化的ルーツを共有する一方で、それぞれの豊かな歴史に基づいて独自の文化を発展させてきました。文化の伝統は、三国の貴重な知的財産であるとともに精神的基盤であり、アジア内外の文化の発展に大きく貢献してきました。三国政府は文化の価値とともに、伝統を継承・発展させるための共同の努力の必要性を認識し、文化を媒体として平和共存、安定、繁栄を促進するために2007年に日中韓文化大臣会合（TCMM）を設立しました。

TCSは、東アジア文化都市（CCEA）事業、日中韓文化コンテンツ産業フォーラムなどTCMMの枠組みのもとで実施される様々な協力事業を着実に支援し、TCMMの主要イニシアチブへの貢献を拡大しています。

第12回日中韓 文化大臣会合

TCSの道上事務局長は、2021年8月30日に開かれた第12回日中韓文化大臣会合（Trilateral Culture Ministers' Meeting: TCMM）にオブザーバーとして参加しました。三国の大臣は新型コロナウイルス感染症の影響について議論し、芸術と文化における最先端技術の役割を認識し、文化協力をさらに強化する方法について意見交換を行いました。三国の大臣は、1) 東アジア文化都市（Culture City of East Asia: CCEA）などの都市間交流、2) 文化芸術機関間の実務的協力、3) 文化・観光産業の持続的発展、4) 文化遺産保護に向けた連携、5) オリンピック・パラリンピックを契機とした共同文化芸術プログラムの実施、これら5つの観点で文化交流を推進することで合意しました。第12回TCMMに続いて採択された「北九州宣言（Kitakyushu Declaration）」は、CCEAの継続的な発展に向けたTCSの支援を歓迎する内容となっています。

TCMMは、三国の文化交流と協力を促進するために2007年に設立された政府間協議メカニズムで、「文化・芸術」「文化財」「文化産業」を三国協力の主軸としています。TCSは、2013年の第5回会合以来継続的に参加しています。

概要

開催日 2021年8月30日
 開催地 オンライン
 参加者  韓国・文化体育観光部
  日本・文部科学省
  中国・文化観光部
 結果 「北九州宣言」





東アジア文化都市

TCSは、2021年5月14日に開催された東アジア文化都市2021（Culture City of East Asia：CCEA）順천시開幕式に招待されました。順천시が主催し、韓国・文化体育観光部が支援した今回の開幕式は、「順天湾、東アジアを抱く」をテーマに開かれ、在韓国日本国大使館公報文化院、韓国内のCCEA、順天市の姉妹都市、地元の文化芸術団体などの関係者がオフラインで参加し、中国の敦煌市と紹興市、北九州市の関係者がオンラインで参加しました。会場に設けられた水上ステージでは、開幕を記念した文化芸術公演やメディア・アートショーなど様々なイベントが行われました。

CCEA事業は、2012年5月に上海で開催された第4回TCMMでの合意に基づいて始まりました。三国は毎年自国の伝統文化を代表する、ないし文化芸術振興に力を入れている国内1～2カ所の都市を選び、その都市において様々な文化イベントや文化交流を集中的に行います。同事業は、東アジアの相互理解と連帯感の促進だけでなく、東アジア文化の世界的な競争力を強化することを目的としています。2021年には中国の敦煌市と紹興市、日本の北九州市、韓国の順천시が選ばれました。このうち北九州市と順天市はもともと2020年の東アジア文化都市に選ばれていましたが、新型コロナウイルス感染症の流行により各行事が延期・中止されたことを受け、2021年に持ち越されたという背景があります。

概要

開催時期 年中

参加都市   2021年東アジア文化都市（中国・敦煌市及び紹興市、日本・北九州市、韓国・順천시）



第13回日中韓文化 コンテンツ産業フ ォーラム

TCSは、2020年11月5日に日本の経済産業省の主催によりオンライン形式で開催された第13回日中韓文化コンテンツ産業フォーラムにオブザーバーとして参加し、代表者が祝辞を述べました。同フォーラムは政府間会議、オンラインパネルディスカッション、オンラインセミナーで構成され、新型コロナウイルス感染症の影響に焦点を当てた議論が繰り広げられました。そして最後に三国は、文化コンテンツ産業における協力の継続を再確認する共同声明を採択しました。

日中韓文化コンテンツ産業フォーラムは、2002年から毎年開催されています。政府関係者と関連業界の代表者が集まり、市場規模の拡大を目指して文化コンテンツ産業に関する情報を共有・議論しています。

概要

開催日	2020年11月5日
開催地	オンライン
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本・経済産業省 ● 中国・文化観光部 ● 韓国・文化体育観光部、関連業界代表者、その他の政府機関
結果	「第13回日中韓文化コンテンツ産業フォーラム共同宣言文」

+ 保健



交通インフラの発達によって越境交流が活発化し、社会環境が変化するのに伴って、保健福祉分野における地域協力の必要性が増しています。健康な生活を脅かす越境課題、保健福祉に関する知識や優良事例の共有、効率的な疾病予防及び対策のための地域的仕組みの設計、北東アジアの健康な生活様式の促進など、三国には数多くの潜在的協力分野が存在します。新型コロナウイルス感染症の予期せぬ大流行により、こうした協力はより重要且つ不可欠となりました。

日中韓三国の政府は保健福祉分野における協力の必要性に応え、日中韓三国保健大臣会合（Tripartite Health Ministers' Meeting : THMM）を開催し、「日中韓新型インフルエンザと新興・再興感染症対策への共同対応に関する覚書（Memorandum of Cooperation: MOC）」や共同行動計画（Joint Action Plan: JAP）など、共通の保健問題に対応するための様々な協力方法を講じました。TCSは2013年のTHMMに初参加して以来、継続して関係省庁への支援策を模索してきました。

第13回日中韓 三国保健大臣会合

第13回THMMが2020年12月11日にオンライン形式で開催され、中国・国家衛生健康委員会、日本・厚生労働省、韓国・保健福祉部、世界保健機関（WHO）西太平洋地域事務局、TCSの代表団が参加しました。開会式では、TCSの道上事務局長が祝辞を述べました。三国の大臣は、「新型コロナウイルス感染症対策に関する経験の共有」、「新型コロナウイルス感染症の予防と管理における情報通信技術（ICT）の役割」、「新型コロナウイルス感染症の診断、治療及びワクチンにおける協力」、「がんとの戦いにおける協力」、「健康的な高齢化における協力」について議論しました。そして最後に、三国の大臣により「第13回日中韓三国保健大臣会合共同声明」が採択されました。

THMMは、三国で共通する保健医療分野の問題やその対応策について議論する目的で、2007年に始まりました。この協議の枠組みのもとで、三国は、日中韓感染症フォーラムや日中韓人口政策セミナーなど多様な取組みを行っています。

概要

開催日 2020年12月11日

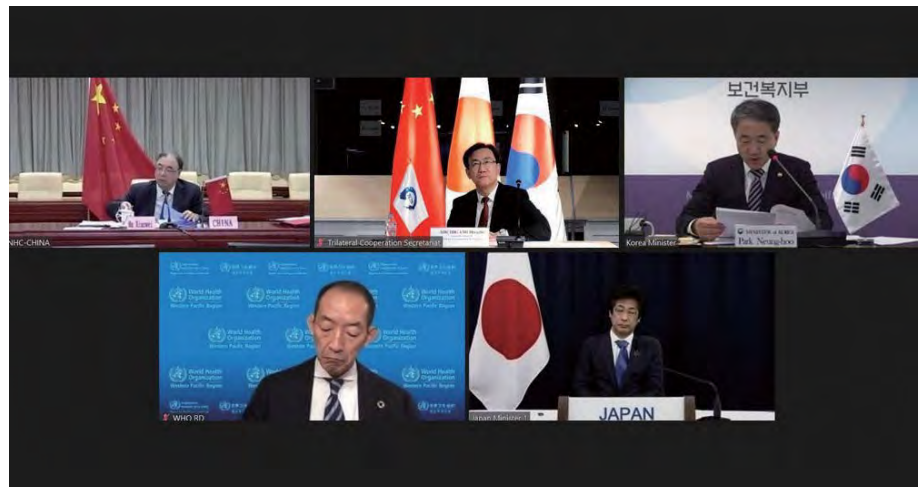
開催地 オンライン

参加者  中国・国家衛生健康委員会（NHC）（主催）

 日本・厚生労働省（MHLW）

 韓国・保健福祉部（MOHW）




結果 「第13回日中韓三国保健大臣会合（テレビ会議）共同声明」



第14回日中韓感染症フォーラム

第14回日中韓感染症フォーラム（Korea-China-Japan Forum on Communicable Disease Control and Prevention）が2020年10月29日から30日までオンライン形式で開催されました。韓国・疾病管理庁、中国・疾病対策予防センター、日本・国立感染症研究所が参加し、2日間にわたってシンポジウムと参加者間の対話を行いました。新型コロナウイルス感染症の流行が続いている状況を踏まえ、1日目には新型コロナへの対応、2日目にはインフルエンザと新型コロナの現状と診断・検査戦略について議論が交わされ、各国の感染症対策機関代表者による発表の後に質疑応答が行われました。TCSは、オブザーバとして参加しました。

概要

開催日	2020年10月29日~30日
開催地	オンライン
参加者	<ul style="list-style-type: none">  韓国・疾病管理庁（主催）  中国・疾病対策予防センター  日本・国立感染症研究所





日中韓三国協力事務局
2020年度年次報告書



三国協力事業の 探求及び実施

「締約国政府の間の潜在的な協力案件を探求し及び特定し、並びにこれらの案件を採択のために関連する協議の仕組みに報告すること」

「日本国政府、中華人民共和国政府及び大韓民国政府の間の三者間協力事務局の設立に関する協定」第三条第1項（c）

01 政治

平和と繁栄のための 済州フォーラム 2020 TCS主催セ ッション

2020年11月6日に開かれた「平和と繁栄のための済州フォーラム2020」において、TCSは「ウィズコロナ・ポストコロナ時代の人間の安全保障のための日中韓協力」と題したセッションを開催し、曹静TCS事務次長が基調講演を行いました。張忠義（ジャン・ジョンイ） 察哈爾（チャハル） 学会ソウル支部事務次長がモデレーターを務め、金詳圭（キム・サンギュ）教授（韓国・漢陽大学）、伊集院敦主席研究員（日本経済研究センター）、周方銀（ジャオ・ファンイン）教授（中国・広東外語外貿大学）が、「人間の安全保障」の観点から、新型コロナウィルスに対する三国の取組みを評価しました。ここでは、パンデミック対策をめぐる三国協力で際立っていたものとして、トップレベルでの迅速な政策調整、救急医療品の提供、積極的な情報共有が挙げられました。

平和と繁栄のための済州フォーラム (Jeju Forum for Peace and Prosperity) は、韓国・済州特別自治道が韓国・外交部の後援を受けて主催している域内の多国間対話の場です。アジアの持続可能な平和と繁栄のためのビジョンについて活発に議論し、共有することを目的として、毎年開催されています。TCSは2014年から同フォーラムに参加しています。

概要

開催日	2020年11月6日
開催地	韓国・済州特別自治道
参加者	講演者、オンライン・オフラインで100人以上
主な活動	プレゼンテーション、ディスカッション形式の学術交流



第5回日中韓三国協カシンクタンクネットワーク（NTCT）フォーカルポイント会議及び2020年NTCTコンファレンス

第5回日中韓三国協カシンクタンクネットワーク（NTCT）フォーカルポイント会議（Network of Trilateral Cooperation Think-Tanks（NTCT）National Focal Points Meeting）が2020年12月8日、オンラインで開催されました。同会議には、主催者である韓国国立外交院（KNDA）、中国外交学院（CFAU）、公益財団法人日本国際フォーラム（JFIR）、そしてTCSが出席しました。TCSの道上事務局長は講演者として招待され、ディスカッションにも参加しました。各国の代表者は、2015年設立からのNTCTの歩みを振り返り、NTCT覚書及びNTCT作業部会の今後の発展について掘り下げた議論を行いました。

続いて、午後からは2020年NTCTコンファレンスが開催され、三国の研究者が「ポストコロナ時代の三国協力」をテーマに意見交換を行い、新型コロナウイルス感染症が三国に与えた影響と三国協力についてレビューしました。

日中韓三国協カシンクタンクネットワーク（Network of Trilateral Cooperation Think-Tanks：NTCT）は、2015年3月、第7回日中韓外相会議で合意され、2015年8月31日に正式に発足しました。NTCTの役割は、三国政府を学術面で支援するとともに、一般市民の三国協力に対する理解を深めることです。

概要

開催日	2020年12月8日
開催地	オンライン（韓国国立外交院（KNDA）主催）
参加者	日中韓のシンクタンク（フォーカルポイント）代表者、研究者、TCS代表者など22人
主な活動	NTCTの発展に関する実務的議論、ポストコロナ時代の三国協力に関する学術交流



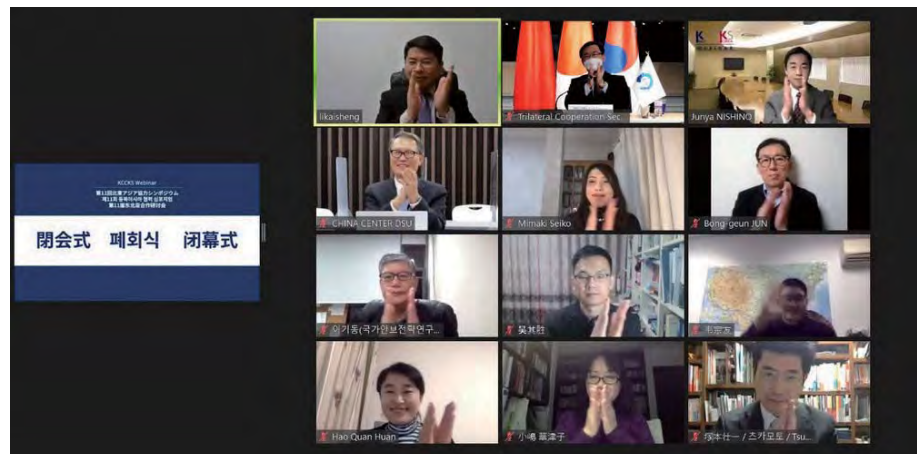
第11回北東アジア 協力国際シンポジウム

第11回北東アジア協力国際シンポジウム（International Symposium on Northeast Asia Cooperation）が2020年12月17日にオンラインで開催されました。慶應義塾大学現代韓国研究センターが主催し、TCSが後援した今回のシンポジウムでは、日中韓三国から21人の研究者と国際関係の専門家が出席し、北東アジアの社会・政治的環境、朝鮮半島の和平プロセス、米国の東アジア政策が三国協力に与える影響について議論しました。ここでは「アメリカ新政権の東アジア政策と日中韓の反応」、「朝鮮半島の和平プロセス」、「日中韓協力と北東アジア地域の秩序」をテーマに3つのセッションが行われ、TCSの道上事務局長は祝辞と第3セッションの発表を行いました。

北東アジア協力国際シンポジウムは、2008年から日本・慶應義塾大学、韓国・東西大学校、中国・上海社会科学院が持ち回りで開催しています。TCSは2018年から同シンポジウムの共催・後援を行っています。

概要

開催日	2020年12月17日
開催地	オンライン（日本・慶應義塾大学主催）
参加者	日中韓の研究者、国際関係の専門家、TCSの代表者など21人
主な活動	国際情勢及び地域情勢に関する学術交流



アジア地域協力 フォーラム

中国国際問題研究所が主催するアジア地域協力フォーラム（Asian Regional Cooperation Forum）が2020年12月18日にオンラインで開催されました。TCSの曹事務次長が参加し、アジアにある地域協力機関の今後の動向について発表しました。曹事務次長は、新型コロナウイルス感染症との戦いにおける日中韓の共同の取組みについて、また、パンデミックに端を発した困難を克服して三国協力を深めようとするTCSの努力について紹介しました。さらに、より具体的な成果をもたらし、この地域の人々の福祉を一層増進するため、地域機関が一層協力することを求めました。

同フォーラムでは、地域協力機関の高官やアジア各国の研究者が、「2020年以降のアジア地域協力：パンデミック、課題と展望」をテーマに掘り下げた議論を行いました。中国外交部の代表も挨拶を行いました。

概要

開催日 2020年12月18日

開催地 オンライン（中国国際問題研究所）

参加者 地域協力機関の代表者、大学・シンクタンクの研究者など約15人

主な活動 アジア地域協力におけるパンデミック、課題、展望に関する政策的・学術的議論



TCS設立10周年記念シンポジウムシリーズ第4弾: 日中韓三国協力: 平和と繁栄に向けて

TCSは、2021年6月24日に開催された済州フォーラムにおいて、TCS設立10周年記念シンポジウムシリーズの一つとして「日中韓三国協力: 平和と繁栄に向けて」と題するセッションを開催しました。同セッションは釜山大学の張暮輝（ジャン・ムーフィ）助教授がモデレーターを務め、韓国国立外交院の崔源起（チェ・ウォンギ）教授、中国対外経済貿易大学の魏玲（ウェイ・リン）教授、毎日新聞社の坂口裕彦ソウル支局長の出席のもと、日中韓三国協力に関する一般市民の意識向上を目的として、より有効で生産的な三国協力について分析し、そこでのTCSの役割を模索しました。道上TCS事務局長の基調講演につづけて、講演者たちは三国協力の根幹となる人的交流の促進を提案し、これが様々な課題に対するTCSの役割を拡大させるだけでなく、連帯感を形成し、三国協力の持続可能性の強化につながると指摘しました。

概要

開催日	2021年6月24日
開催地	韓国・済州特別自治道
参加者	日中韓の講演者、オンライン・オフラインで100人以上
主な活動	発表とディスカッション形式の学術交流



ボアオ・アジア・ フォーラム2021 「アジア地域協力 円卓会議」

ボアオ・アジア・フォーラム（Boao Forum for Asia : BFA）は2001年2月に設立された非政府・非営利国際機関です。BFAは、2002年から中国・海南省にある博口（ボアオ）にて年次会合を開催しており、アジアやその他の地域の政府・企業・学界関係者らが集い、経済・社会・環境など様々な議題について議論するハイレベルの会議として発展してきました。2021年4月20日に開かれた「2021BFA年次総会アジア地域協力円卓会議」では、TCSの曹事務次長がオンラインで出席し、発言しました。

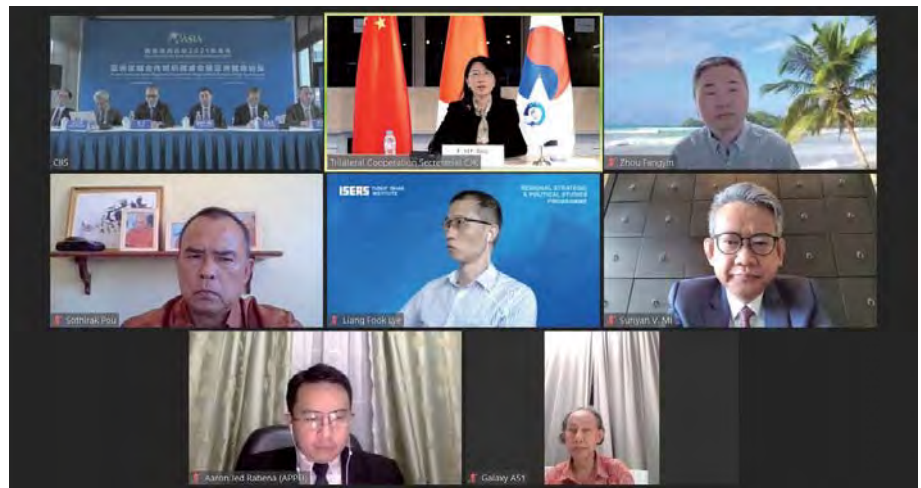
概要

開催日 2021年4月20日

開催地 中国・海南、オンライン（中国・国際問題研究院主催）

参加者 地域協力機関の代表者、大学・シンクタンクの研究者など計15人

主な活動 「新しい状況下でのアジア地域協力の機会、課題、道筋」に関する政策と学術
討論



02

経済・持続可能な開発

第6回日中韓産業
博覧会

第6回日中韓産業博覧会（China-Japan-Korea Industries Expo）が2020年9月25日から27日まで中国・濰坊で開催され、TCSの道上事務局長は、ビデオメッセージの形で開会の辞を述べました。

そのなかで、道上事務局長は第6回博覧会の開催を祝し、コロナ禍での三国間の経済協力やビジネス交流の推進の重要性を強調し、博覧会に対し引き続き支援を行っていくと表明しました。また、道上事務局長は、コロナ禍の困難な状況の中でも、日中韓三国間協力が着実に進展していることを強調しました。会期中TCSは数回にわたってウェビナーを開催し、三国の事例とノウハウを多くの聴衆と共有しました。

日中韓産業博覧会は、2015年から三国間の経済産業協力を強化することを目的に開催されています。TCSは、初年度から参加し支援してきました。

概要

開催日	2020年9月25日～27日
開催地	中国・濰坊、オンライン
主催	中国国際貿易促進委員会（CCPIT）、中国山東省人民政府、日本国際貿易促進協会（JAPIT）、韓国貿易協会（KITA）
後援	TCS
参加者	日中韓の政府・自治体と関連企業・団体の代表者
活動	日中韓産業協力発展フォーラム、中小企業・人材開発・スマート製造・保健及び高齢者介護に関する日中韓産業協力行事等



韓・日・中地域間 経済交流フォーラム2020

韓・日・中地域間経済交流フォーラム2020（Trilateral Local Economic Exchange Forum）が2020年10月12日に韓国・ソウルで開催されました。「アフター・ウィズコロナ下の観光産業における三国協力」と題した韓日経済協会主催の同フォーラムには、韓国に駐在している三国の地方政府（自治体）の代表者やビジネス関係者が出席しました。TCSから道上事務局長が出席しました。

道上事務局長は冒頭挨拶の中で、日中韓三国が新型コロナウイルス感染症の流行を克服し、経済を立て直すために様々な分野におけるハイレベル会議を開催するなどの努力を続けていると強調し、その一環としてTCSが行った日中韓三国のコロナ対策に関するオンラインセミナーや地方政府間の協力などについて紹介しました。一方、三国の地方政府及び関連機関は観光産業の活性化に向けた取組みについて紹介し、これをもとに、ポスト・コロナ時代の観光協力や人的交流を促進する方法について意見交換が行われました。

同フォーラムの主催者である韓日経済協会は、三国の関係省庁、地方自治体、経済団体の間で毎年開催される環黄海経済・技術交流会議の韓国側主催者です。新型コロナウイルスの感染拡大により2020年の会議が延期されたため、協力の気運を維持するために韓日経済協会が今回の特別フォーラムを開催しました。

概要

開催日 2020年10月12日

開催地 韓国・ソウル

主催 韓日経済協会、韓日産業技術協力財団

参加者 日中韓地方政府（自治体）と関連企業・団体の代表者

活動 韓・日・中地域間経済交流フォーラム2020（メイン行事）



太倉対話－日中韓 産業協力

太倉対話－日中韓産業協力（Dialogue with Taicang-Trilateral Industrial Cooperation and Exchange）が2020年10月と2021年6月に中国で開催されました。同対話は、中国国際商会（CCOIC）日中韓企業交流センター、中国国際貿易促進委員会（CCPIT）江蘇省分会、太倉市人民政府の主催で行われました。

2020年の対話で、TCSの姜事務次長は、ポスト・コロナ時代に三国間の産業協力と交流の気運を保つうえで同対話が重要であることを強調しました。また、2021年の対話にはTCSの曹事務次長が出席し、太倉市の産業発展と三国協力の強みを高く評価しました。同対話は、三国の企業間の相互理解と協力を深めることを目的としています。

概要

太倉対話－日中韓産業協力会議

開催日 2020年10月21日

開催地 中国・北京

テーマ 相互利益のためのイノベーション、開発、協力

太倉対話－日中韓産業協力フォーラム

開催日 2021年6月29日

開催地 中国・太倉

テーマ 共同イノベーション、相互利益をもたらす変革



東アジアと北東アジアにおける持続可能な開発のための包括的地域協力に関する政策対話

東アジアと北東アジアにおける持続可能な開発のための包括的地域協力に関する政策対話（Policy Dialogue on Inclusive Sub-regional Cooperation in East and North-East Asia for Sustainable Development）が国連アジア太平洋経済社会委員会（UNESCAP）の主催で開催されました。同対話は、地域における持続可能な開発目標（SDGs）の達成を加速するため、連結性、環境の持続可能性、イノベーションなど地域協力の主要な議題について議論することを目的としています。TCSの道上事務局長もパネリストとして招待されました。

道上事務局長は、新型コロナウイルス感染症と拡大する不平等が人間の安全保障に深刻な脅威をもたらしていると指摘し、持続可能な開発への包括的なアプローチにはより強固な基盤が必要と強調しました。また、三国協力の3つの主要分野（環境、防災、保健）を紹介し、これらの分野における域内外協力を訴えました。

概要

開催日 2020年10月22日

開催地 オンライン

主催 UNESCAP北東アジア事務所、韓国外交部、仁川広域市

テーマ 持続可能な連結性、環境の持続可能性、イノベーションにより包括的かつ回復力のある社会を構築するための東アジアと北東アジアにおける地域協力



日中韓ビジネスカンファレンス

日中韓ビジネスカンファレンス（China-Japan-Korea Business Conference）は2018年から毎年中国・紹興市で開催され、第1回からTCSが支援しています。同会議は、三国の企業間のコミュニケーションを拡大し、産業協力を促進することを目的としています。

第3回と第4回会議はそれぞれ2020年11月と2021年5月に行われ、TCSの姜事務次長がビデオメッセージを寄せました。そのなかで姜事務次長は、多くの国の経済が依然としてパンデミックから回復する過程にあることを考えると、経済回復への自信を吹き込み、三国間経済協力の気運を維持するためにこうした会議を開催していくことが必要と述べました。また、日中韓の企業が、ポストコロナ時代においてデジタル化、環境、医療分野の協力をさらに強化していくよう呼びかけました。2021年に創設10周年を迎えるTCSは、今後もあらゆるレベルで三国協力を継続的に支援していくことを約束します。

第4回会議の際は、紹興市が2021年の東アジア文化都市に選ばれたことを祝い、同市が人的交流やビジネス協力の促進に貢献したことを称えるため、TCSが紹興市人民政府に祝賀書簡を送りました。

概要

第3回日中韓ビジネスカンファレンス

開催日 2020年11月4日
 開催地 中国・紹興、オンライン
 主催 中国国際商会（CCOIC）、在中国日本商工会議所、在中国韓国商工会議所、紹興市政府、中国国際貿易促進委員会（CCPIT）浙江省委員会
 参加者 日中韓の政府・自治体、関連企業・団体の代表者
 テーマ 協力とイノベーション、改革と相互利益

第4回日中韓ビジネスカンファレンス

開催日 2021年5月25日
 開催地 中国・紹興、オンライン
 主催 中国国際商会（CCOIC）、在中国日本商工会議所、在中国韓国商工会議所、紹興市、中国国際貿易促進委員会（CCPIT）浙江省委員会
 参加者 日中韓の政府・自治体、関連企業・団体の代表者
 テーマ 新しい挑戦、新しい改革、新しい機会





グローバルユース 気候チャレンジ

TCSは、2020年11月8日に「ホットな地球にクールな若者を（Hot Earth Needs Cool Youth）」とのスローガンのもとで開催された第1回グローバルユース気候チャレンジ（Global Youth Climate Challenges: GYCC）に参加しました。GYCCは、気候変動問題に対する意識の向上を図り、革新的な解決策について若者の声を聞くイベントです。TCSは、韓国に住む中国人と日本人の留学生を同イベントの参加者として推薦しました。

第1回GYCCは韓国の国家気候環境会議（NCCA）が主催し、日中韓を含む世界各国の若いリーダーが参加しました。TCSの道上事務局長は開会式で祝辞を述べ、気候変動と新型コロナウイルス感染症が人間の安全保障に深刻な脅威をもたらしていることを強調しました。また、若者の間で環境保護におけるネットワークを構築・拡大していくよう呼びかけました。

概要

開催日	2020年11月8日
開催地	韓国・松島、オンライン
参加者	国家気候環境会議（主催）、各国の学生120人
テーマ	ホットな地球にクールな若者を



2020日中韓 地域協力国際 フォーラム

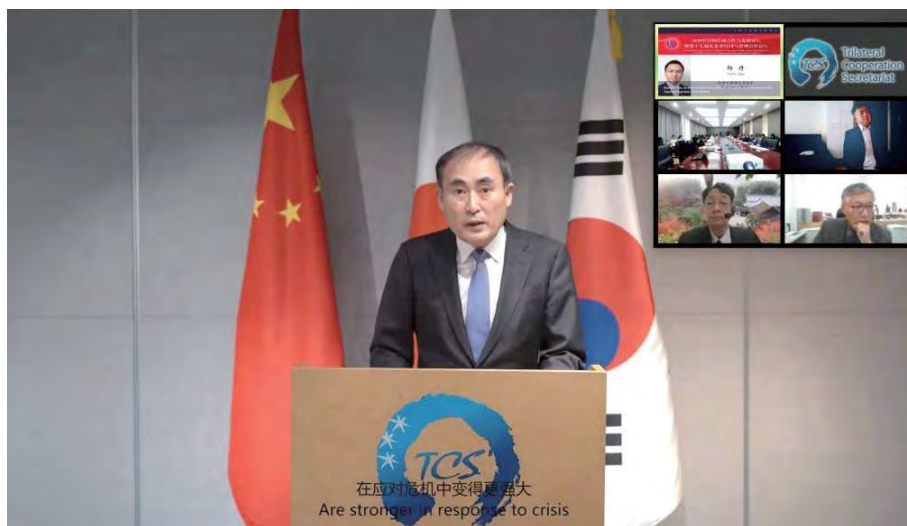
日中韓地域協力国際フォーラム（International Forum on Regional Cooperation of China, Japan, and South Korea）が北京外国語大学の主催で2020年11月14日にオンラインで開催されました。フォーラムでは、TCSの姜事務次長が冒頭でビデオメッセージの形で祝辞を述べました。

姜事務次長は、東アジアの経済発展に寄与する三国協力の重要性を強調し、三国の新型コロナウイルス感染症対策について紹介しました。また、未曾有のパンデミック危機の中で、国際機関と地域機構がより緊密に協力するネットワーク化された多国間主義と、政府、企業、学界を含む様々なセクターが共に参画する包摂的な多国間主義を擁護するよう呼びかけました。

同フォーラムは、「日中韓経済協力の再構築と高度化：新時代の共創（The Restructuring and Upgrading of Economic Cooperation among China, Japan, and South Korea: Co-creation of a New Era）」と題し、日中韓から学者や研究者が30人以上参加し、北東アジアにおける経済協力の推進について知見を共有し、学術発表を行いました。

概要

開催日	2020年11月14日
開催地	オンライン
主催	北京外国語大学
参加者	政府、学术界、企業の代表者
活動	開会式、基調講演、セッション、学術発表など



第7回日中韓協力 ダイアログ

第7回日中韓協力ダイアログ（CJK Cooperation Dialogue）が2020年11月25日、TCS国際会議室及びZoomでのハイブリッド形式で開催されました。同ダイアログは、韓国の東アジア財団、中国（海南）改革発展研究院（CIRD）及び日本の国際経済交流財団（JEF）が主催し、TCSによる後援の下で行われたもので、TCSの道上事務局長が開会式で歓迎の辞を述べました。

今年のダイアログは、「コロナ・パンデミック下の日中韓共同ナビゲーション及び新たな機会」と題し、三国の専門家が経済、貿易、環境及び産業の視点からパンデミックとポスト・パンデミックにおける協力の見通しについて議論しました。道上事務局長は、2021年にTCSが設立10周年を迎えることに触れ、様々な分野における閣僚級会合及び非政府間協力に対する支援においてTCSが重要な役割を果たしており、パンデミック対応のための協力事業を推進していることを強調しました。

同ダイアログは、2014年から日中韓三国が持ち回りで開催しています。

概要

開催日	2020年11月25日
開催地	TCS、オンライン
主催	韓国・東アジア財団、中国（海南）改革発展研究院、中国公共外交協会、日本・国際経済交流財団
後援	TCS
参加者	関連団体の専門家
活動	第7回日中韓協力ダイアログにおける4つのセッション



2020日韓（青島） 輸入商品博覧会

2020日韓（青島）輸入商品博覧会 [Japan and Korea (Qingdao) Imports Expo] が2020年12月10日から12日にかけて、中国・青島で開催されました。TCSの姜事務次長は12月10日、開会式にてビデオメッセージの形で祝辞を述べました。

姜事務次長は、困難な時期に三国間の経済・貿易協力を促進するための輸入博覧会を開催した青島市政府に感謝の意を表しました。また、三国がより便利で健全なビジネス環境を提供する地域的な包括的経済連携協定（RCEP）に参加・署名したことに言及し、経済成長を促す上で企業活動がますます重要な役割を果たすと強調し、TCSは全ての関係者と共に様々な分野における三国協力を引き続き強化していくと述べました。

日韓（青島）輸入商品博覧会は、日中韓三国の企業活動と商品貿易を促進するため、2018年から毎年開催されています。2020年の博覧会では、三国の地方自治体と企業団体との間の活発な意思疎通を図る目的で、中国国際貿易促進委員会日中韓ビジネス協議会の青島連絡事務所（CCPIT China-Japan-Korea Business Council Qingdao Liaison Office）が設置されました。

概要

開催日	2020年12月10日～12日
開催地	中国・青島
主催	青島市人民政府
参加者	日中韓の政府・自治体、関連企業・団体の代表者
活動	CCPIT日中韓ビジネス協議会青島連絡事務所開所式、日中韓中小企業間の越境eコマース商品貿易イベント



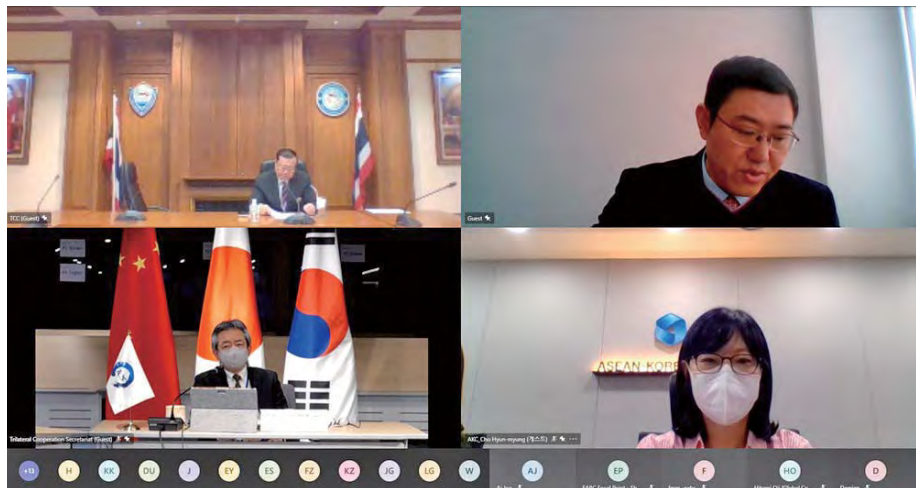
第50回東アジアビジネスカウンシル 会合

TCSは、2021年1月21日～22日に開かれた第50回東アジアビジネスカウンシル会合（East Asia Business Council : EABC）の実務者会合にオンラインで出席し、ASEAN+3協力に対するTCSの参画を強化するため、相互の関心分野を検討しました。会合でTCSの長渕憲二経済部長は、今後、様々な形式でTCSとEABCを含むASEAN機関との間で意見交換する機会を模索していきたいと強調しました。

EABCは2003年10月にASEAN+3の首脳の合意を受けて、域内の貿易投資を促進し、ASEAN+3における民間セクターの協力を強化することを目的として、2004年にマレーシアのクアラルンプールに設立されました。TCSは、「ASEAN+3協力20周年に係るマニラ宣言」及び「ASEAN+3協力作業計画2018-2022」に基づき、地域統合をさらに深めてASEAN+3協力のイニシアティブを強化していくため、EABCとの協力を通じて貿易投資の活性化に努めていきます。

概要

開催日	2021年1月21日～22日
開催地	オンライン
主催	東アジアビジネスカウンシル（EABC）
参加者	TCS、ASEAN+3ビジネス協会、日中韓各国のアセアンセンター、ASEAN+3諸国の企業関係者
議題	- 地域的な包括的経済連携協定（RCEP）に向けたASEAN+3のビジネス協力 - 電子商取引 - 中小企業（MSMEs）及び投資データベース



TCS設立10周年記念シンポジウムシリーズ第2弾: 日中韓における都市再生：傾向と事例

TCSは、2021年3月23日に、設立10周年記念シンポジウムシリーズの第2弾として都市再生をテーマにオンラインシンポジウムを開催しました。都市再生は、日中韓が共通して抱える課題です。三国いずれにおいても都市化の傾向が続く一方、一部の都市では経済的な競争力を再構築する必要性が増大しているからです。優先順位や方法は都市によって異なりますが、都市再生への様々なアプローチを相互に学ぶ機会を持つことは大きな意味を持っています。

シンポジウムでは、日中韓の専門家が都市再生の政策動向を共有し、地方都市の代表者が、若い世代の経済中心地への流出、高齢化、産業構造の変化、社会インフラの老朽化といった課題に取り組むための多様な状況に応じたアプローチを紹介しました。また、地域住民の関与、固有の歴史と文化の保全、総合的な自然景観形成など、三国共通の戦略について議論がなされました。

都市再生には、持続可能な開発のための2030アジェンダの重要なテーマが含まれています。三国は、ポストコロナの時代に都市を持続可能で強靱なものにするための努力を加速することが期待されています。TCSは、パートナーと協議し、将来の協力のためのアジェンダを引き続き検討していきます。

概要

開催日 2021年3月23日

開催地 オンライン

主催 TCS

後援 中国・都市計画設計研究院、日本・内閣府、韓国・国土研究院

参加者 日中韓の政府・自治体、学术界、企業の代表者150人以上



TCS設立10周年記念シンポジウムシリーズ第3弾: 日中韓企業家フォーラム2021

TCSが主催し、中国国際商会（CCOIC）、日本経済団体連合会、韓国・全国経済人連合会（FKI）が後援する日中韓企業家フォーラム2021が、2021年6月10日、オンラインで開催されました。

日中韓の著名な専門家や企業家が集まった同フォーラムでは、「活力ある高齢化社会のためのビジネスイノベーション〜課題をチャンスに〜」をテーマに高齢化社会に対応するビジネスの役割と可能性について議論し、三国の革新的なビジネスモデルと解決策を共有しました。

日中韓企業家フォーラムは、ビジネス分野における革新的なアイデアを共有するためのプラットフォームを提供し、日中韓の国境を越えるビジネス協力を促進するためのTCSの年次イベントです。本年度のフォーラムは、TCS設立10周年記念シンポジウムシリーズの一つとして開催され、日中韓三国政府、学会、ビジネス経済界及びメディアから300名以上が参加しました。

概要

開催日	2021年6月10日
開催地	オンライン
主催	TCS
後援	中国国際商会、日本経済団体連合会、韓国・全国経済人連合会
参加者	日中韓の政府・自治体、学术界、企業、国際機関、メディアなどの関係者300人以上



TCS設立10周年記念シンポジウムシリーズ第5弾: 日中韓における農業の発展と農村活性化～コロナを越えて

2021年7月21日、TCSは設立10周年記念シンポジウムシリーズ第5弾として「日中韓における農業の発展と農村活性化～コロナを越えて」を開催しました。三国の著名な専門家が一堂に会し、農業関連の政策と農村振興の優良実例を紹介しました。

シンポジウムで各国の専門家は、新型コロナウイルス感染症流行下及びその後に農業を発展させ農村地域を活性化するための各国の政策を紹介しました。そこでは、都市部と農村部の間の調和のとれた開発と資源の流れを促進する方法や、人材を農村地域に引き寄せた事例、革新的手法により地方の人材を育成・管理する方法、若い世代が農村地域でデジタルライフスタイルを拡大した事例など、様々な農村活性化の事例が挙げられました。

農業と農村の発展は三国にとって重要な課題であり、日中韓農業大臣会合（TAMM）でも農村の活性化を中心的な協力分野の一つに位置付けています。日中韓の農業は共通点を持ちながらも発展のスピードが異なり、ノウハウを共有することでより良い方法を学ぶことができます。新型コロナウイルス感染症が地球規模で農業と農村の発展に困難をもたらし、三国での意見交換を継続する重要性がさらに増す中、同シンポジウムは有意義な情報・知識共有の機会となりました。

概要

開催日	2021年7月21日
開催地	オンライン
主催	TCS
参加者	日中韓の政府・自治体、学术界、企業などの関係者230人以上



RCEP経済貿易協 カハイレベルフォ ーラム

RCEP経済貿易協カハイレベルフォーラム（High-level Forum for RCEP Economic and Trade Cooperation）が中国国際商会（CCOIC）と青島市政府の共催により青島で開かれました。同フォーラムは、企業が国際協力と市場競争に積極的に参加し、RCEPがもたらす発展の利益を共有することを目的としています。TCSからは姜事務次長がパネリストとして招待されました。

姜事務次長は、アジア諸国は日中韓三国の重要な経済協力パートナーとして成長の可能性を示しているとし、危機に強い相互協力をもとにコロナ禍においても新たな課題に共に立ち向かい、チャンス共有することを期待すると述べました。

概要

開催日	2021年4月25日
開催地	中国・青島
主催	中国国際商会、青島市政府
参加者	RCEP加盟国の政府機関、商工会議所、産業機構、ビジネス団体、国際機関などの代表者300人
テーマ	チャンス共有し、共に発展し、共に回復する



日中韓投資協力セミナー

日中（済寧）韓投資協力セミナー [China (Jining) and Japan, ROK Investment Cooperation Seminar] が2021年6月10日、中国・青島で開かれました。同セミナーは日中韓三国のビジネス交流の活性化と経済協力の増進を目的とし、TCSの姜事務次長がビデオメッセージを寄せました。

姜事務次長は、地方都市がコロナ禍以降に経済協力の気運を取り戻すことが重要と指摘し、三国の企業代表者が集まって投資・ビジネスの機会を探るセミナーを主催した中国・済寧市の努力に謝意を示しました。また、今後、企業は社会的責任にさらに目を向け、持続可能な発展に重要な役割を果たすべきだと強調しました。そして、2021年がTCS設立10周年であることを紹介し、TCSは引き続きあらゆる分野で日中韓の政府及び非政府間協力を支援していくと表明するほか、三国の経済協力を積極的に取り組んでいる山東省に対し貢献をさらに拡大してほしいと呼びかけました。

概要

開催日	2021年6月10日
開催地	中国・青島
主催	済寧市中国共産党委員会、済寧市人民政府
参加者	日中韓の政府・自治体、関連団体の代表者



2021RCEP国際貿易デジタル博覧会

地域的な包括的経済連携（RCEP）国際貿易デジタル博覧会（RCEP Members International Trade Digital Expo）が2021年7月28日から8月6日までオンラインで行われました。中国国際貿易促進委員会（CCPIT）主催、中国国際商会（CCOIC）主管で行われた同イベントは、地域的な包括的経済連携（RCEP）加盟国間の交流と経済・貿易協力を拡大し、自由貿易地域（free trade zone）戦略の実施を加速させてRCEPと日中韓市場間の経済・貿易交流を促進する機会となりました。TCSからは姜事務次長が開会式に招待され、発言しました。

姜事務次長は発言のなかで、アジア金融危機の下で三国協力が生まれたように、共同の努力と緊密な協力を通じて危機をチャンスに変えることができると強調しました。同イベントは、新型コロナウイルス感染症の流行が二国間及び多国間の経済協力に与える悪影響を減らす機会となりました。

概要

開催日	2021年7月28日～8月6日
開催地	オンラインによる博覧会 - オンラインデジタル展示館 オフライン開会式とフォーラム - 中国国際貿易促進委員会の大講堂（中国・北京）
主催	中国国際貿易促進委員会
主管	中国国際商会
参加者	RCEP加盟国の専門バイヤー2万人
活動	開会式、RCEP協力フォーラム、オンライン商談会（Online Business Match-making Meeting）



03 社会・文化

2021日中韓発達障害芸術家特別展

2021年7月8日から10日まで、TCSは韓国・ソウルのCOEXにて2021日中韓発達障害芸術家特別展（Special Exhibition by Artists with Developmental Disabilities）を韓国外交部と共同で開催しました。本特別展は「アートを通じて花開いた三国対話」というテーマのもと、発達障害を抱える三国の芸術家たちによる各国の美しい風景や姿を描いた48点の作品（各国16作品ずつ）が展示されました。TCSにとっても、新型コロナウイルス感染症の流行により社会的格差が拡大するなか、発達障害を持つ芸術家が主役となるイベントを開催することにより、人権と多様性を強化する有意義な機会となりました。

概要

開催日	2021年7月8日～10日
開催地	韓国・ソウル
共同主催	韓国外交部、TCS
テーマ	「アートを通じて花開いた三国対話」
参加者	発達障害のある三国の芸術家13人



第14回アジア国際 青少年映画祭

TCSと有限責任事業組合アジア国際青少年映画祭日本（AIYFF組織委員会）は、5月3日から6月20日にかけて第14回アジア国際青少年映画祭（Asia International Youth Film Festival: AIYFF）をオンラインで共催しました。日中韓三国の数百点に及ぶ作品から厳正な審査を経て21作品が入選しました。会期中の1カ月間、21人の監督はオンライン交流会に参加して自らの映画作品や制作哲学について議論したほか、TCS主催の講演にも参加しました。道上事務局長からは激励の言葉がありました。

AIYFFは三国の若手監督による映画を紹介し、上映会やフォーラムなどを通じて三国の若い映画制作者が互いに学び合うことを奨励する毎年恒例のイベントです。2004年に「韓国国際青少年映画祭」として始まり、その後、日中韓三国が持ち回りで開催することで合意して2007年に現在の形になりました。TCSは、2018年からAIYFFの共催者として若手監督による交流をサポートし、専門性向上のためのフォーラムやワークショップを主催しました。

概要

開催日	2021年5月3日~6月20日
開催地	オンライン（日本）
参加者	監督21人、一般参加者300人以上
主な活動	映画上映会、交流会、パネルディスカッション、授賞式



TCS設立10周年記念シンポジウムシリーズ第1弾: 道上尚史TCS事務局長と張済国東西大学総長との対談～三国協力和青少年交流～

2021年3月17日、TCS設立10周年記念シンポジウムシリーズが「道上尚史TCS事務局長と張済国東西大学総長との対談～三国協力和青少年交流～」により幕を開けました。道上事務局長は、TCSの10年間の歩み、中国と韓国に駐在した経験、日本が韓国と中国から学べる点、三国協力の将来について述べました。対談相手として参加した張済国（チャン・ジェグク）東西大学総長は、コロナ禍における大学交流の現況を説明し、韓国がいかに日本と中国から学べるか意見を述べました。また、発言者として招かれた北京大学、立命館大学、東西大学の学生も、パンデミック下での学生生活の苦勞、中国が日韓両国から学ぶべき点、三国協力への提案などについて意見を述べました。本イベントは学生を中心に約250人が参加しました。

概要

開催日 2021年3月17日

開催地 オンライン（韓国）

参加者 講演者2人、招待学生3人、一般参加者約250人



第1回日中韓職業教育国際協力フォーラム

第1回日中韓職業教育国際協力フォーラム（Trilateral International Cooperation Forum on Vocational Education）が2020年12月22日に中国・吉林省で開催されました。同フォーラムは、吉林日中韓協力研究センターと中国職業教育協会の主催、TCSと中国公共外交協会の後援で行われました。TCSの曹事務次長は、歓迎挨拶の中で、コロナ禍で職業教育の分野における三国協力を強化することは経済の成長と再生、変革を促し、就業の機会につながるとして、その重要性を強調しました。曹事務次長はまた、日中韓三国が政策を調整・協力し、東アジアの経済発展に必要な人材を養成することを望むと述べました。その後、観光と高齢者福祉をテーマとした2つのサブフォーラムが開かれ、三国の専門家が意見交換を行いました。

概要

開催日	2020年12月22日
開催地	オンライン（中国・吉林省）
主催	吉林日中韓協力研究センター 中国職業教育協会



2020日中韓メディアフォーラム

2020年11月24日、TCSの曹事務次長はオン・オフラインで開催された2020日中韓メディアフォーラム（Korea-China-Japan Media Forum）に出席しました。江原道と江原道民日報が主催した同フォーラムは、日中韓のオリンピック組織委員会と現地メディアの関係者が日中韓三国のオリンピック・レガシーを創り、メディア協力を強化する方法を探るために設けられました。

曹事務次長は同フォーラムの開催を祝うビデオメッセージを寄せ、三国間のコミュニケーションと友好を促進するために貴重な場を設けた主催者に謝意を表明しました。また、パンデミックにより交流が困難になったものの、新型コロナウイルス感染症という共通の課題に対処する中で三国の友好・協力がさらに深まっていることを強調しました。同フォーラムは、三国のジャーナリストとオリンピック関係者が一堂に会し、オリンピックにおける協力の強化や経済・観光分野における協力拡大について議論するとともに意義深い場になりました。なお、曹事務次長は、TCSがメディア交流を重要な協力分野として認識し、ジャーナリストの交流プログラムを定期的に開催してきたことも紹介しました。設立10周年を迎えるに当たり、TCSはメディア交流の促進を強化し、三国国民間の対話とコミュニケーションの架け橋となる努力を続けていきます。

概要

開催日 2020年11月24日

開催地 オンライン（韓国）

主催 江原道、江原道民日報

参加者 日中韓のオリンピック組織委員会、主要な現地メディア関係者



北京第二外国語学院 東アジア文化研究所開所式

TCSの曹事務次長は2020年10月24日、北京第二外国語学院（BISU）東アジア文化研究センターの開所式に出席し、祝辞を述べました。この中で曹事務次長は、三国協力には日中韓の大学の知的支援が不可欠であり、TCSが教育分野での協力を積極的に推進していることを強調しました。さらに、東アジア文化研究センターが文化、教育、観光の分野における三国協力の機会を探り、東アジアの文化交流を活性化し、東アジア文化の影響力を高めることを期待すると述べました。

概要

開催日 2020年10月24日

開催地 オンライン（中国・北京）

主催 北京第二外国語学院（BISU）東アジア文化研究センター

参加者 日中韓三国協力を専門とする中国の研究者50人以上



TCS設立10周年記念シンポジウムシリーズ第6弾: 地方都市間における三国協力の推進

2021年8月5日、TCS設立10周年記念シンポジウムシリーズの一つとして、「地方都市間における三国協力の推進」に関するオンラインシンポジウムが開催されました。同シンポジウムは中国国際友好城市联合会（CIFCA）、日本自治体国際化協会（CLAIR）、大韓民国市道知事協議会（GAOK）の後援の下、日中韓の各省庁、地方自治体、学术界、企業などから400人以上が参加しました。

同シンポジウムは、TCS設立10周年記念シンポジウムシリーズの第6弾として、日中韓三国の国民生活と密接に関わる地域交流の活性化を目的として開かれ、日中韓交流事業の現状、代表事例、ポストコロナ時代の日中韓地方交流振興、TCSの役割などについて議論しました。TCSは、今回のシンポジウムの結果を踏まえ、日中韓の地方交流事業への支援を拡大し、地域交流の強化に向けて努力を続けていきます。

概要

開催日	2021年8月5日
開催地	韓国・ソウル
主催	TCS
後援	中国国際友好城市联合会（CIFCA） 日本自治体国際化協会（CLAIR） 大韓民国市道知事協議会（GAOK）
テーマ	「地方都市間における三国協力の推進」
議題	1. 日中韓の地方都市交流事業と傾向：現況、成果と課題 2. 日中韓の地方都市交流事業の代表事例：中国・楊州市、日本・北九州市、韓国・済州特別自治道 3. ポスト・コロナ時代における地方都市交流の促進方法及びTCSの役割
参加者	日中韓の各省庁、地方自治体、学术界、企業などの代表者400人以上



第13回北東アジア地域自治体連合（NEAR）総会

第13回北東アジア地域自治体連合（NEAR）総会〔General Assembly of the Association of North East Asia Regional Governments（NEAR）〕が韓国・浦項から配信するオンライン形式で開催され、TCSの道上事務局長がビデオ形式で祝辞を述べました。道上事務局長は、TCSが地方自治体レベルでの交流の重要性を強く認識していることを示し、東アジア文化都市（CCEA）事業や地方交流に関する研究調査への支援などこれまで地方自治体間の様々な交流と協力を推進してきたことを紹介しました。また、人々の生活や地域の平和と繁栄の基盤である地方都市間の交流と相互理解を促進することの重要性を強調しました。

NEARは、日中韓三国をはじめとする北東アジア6カ国78の自治体が加盟する多国間国際協力機構で、今年で創設25周年を迎えました。

概要

開催日 2021年8月10日

開催地 オンライン（韓国・浦項）

主催 北東アジア地域自治体連合（NEAR）、慶尚北道

参加者 地方自治体、国際機関、大学などの関係者250人以上



日中韓ジャーナリズムセミナー

2021年6月21日、TCSは韓国・ソウルのフォーリンプレスセンターにて、オンラインとオフラインによるハイブリッド形式で日中韓ジャーナリズムセミナー（China-Japan-Korea Journalism Seminar）を開催しました。同セミナーには日中韓三国から計9人（オフライン6人、オンライン3人）の記者が参加し、TCSからは道上事務局長と曹事務次長が出席しました。三国の記者たちは、「日中韓三国のメディアにおける新たな変化と動向」というテーマのもと、ジャーナリズムに対する新型コロナウイルス感染症・パンデミックの影響、デジタル技術がメディア業界にもたらした変容、そして三国のメディア協力促進におけるTCSの役割について議論しました。

道上事務局長は開会の辞の中で、三国協力において記者交流と相互理解を促進することの重要性を強調し、日中韓のメディアが意見を交わし、互いに学びながら課題と変化に対処する新たな方法を見つけることを期待すると述べました。続いて、参加した記者たちは、パンデミック下の経験や困難を共有し、事実を追求することの重要性について議論しました。

TCSは2014年以降、三国の記者の交流と相互理解を促進するために日中韓記者交流プログラムを実施してきました。

概要

開催日	2021年6月21日
開催地	オンライン・オフライン（韓国・ソウル）
主催	TCS
参加者	<ul style="list-style-type: none"> 中国：人民日報、新華社通信、CCTV、CGTN 日本：NHK、共同通信社、毎日新聞社 韓国：SBS、ソウル新聞、亞洲經濟



04

部門横断的事業

日中韓三国協力
国際フォーラム
2021

TCSは2021年4月27日、日中韓三国協力国際フォーラム（International Forum for the Trilateral Cooperation : IFTC）2021をオンライン・オフラインのハイブリッド形式で開催しました。ここでは「TCS設立10周年を迎えて：次の10年に向けた新たな日中韓パートナーシップのあり方」をテーマに15人の政府高官、著名な研究者、専門家が知見を共有し、政府、学术界、メディア、企業、日中韓の外交団から500人余りが参加しました。

本フォーラムは、TCSの道上事務局長による開会の辞で始まり、続いて、崔鍾文（チェ・ジョンムン）韓国外交部第二次官、相星孝一在韓国日本国特命全権大使、邢海明（シン・ハイミン）在韓国中国特命全権大使が祝辞を述べ、潘基文（パン・ギムン）前国連事務総長が基調講演を行いました。

本年のフォーラムでは、三国協力の重要性と成果に焦点を当て、「TCSの業績と今後の日中韓協力について」、「経済界の声：パンデミックにおける経済協力活性化への道筋」、「次世代のエンパワーメント：日中韓の青少年コミュニティ形成」の3つのセッションを通じ、今後10年の実践的な協力のあり方について議論しました。これらのセッションでは日中韓の著名なモデレーターや発表者が経験と意見を共有し、三国協力を強化するための方法を探りました。

日中韓三国協力国際フォーラムは、TCSが主催する旗艦事業のひとつであり、三国協力に関する認知度を高め、過去の成果を振り返り、未来志向の政策提言を模索する貴重な機会となっています。今回のフォーラムは、三国の主要メディアである朝日新聞、人民日報及び朝鮮日報の後援を受けて行われました。

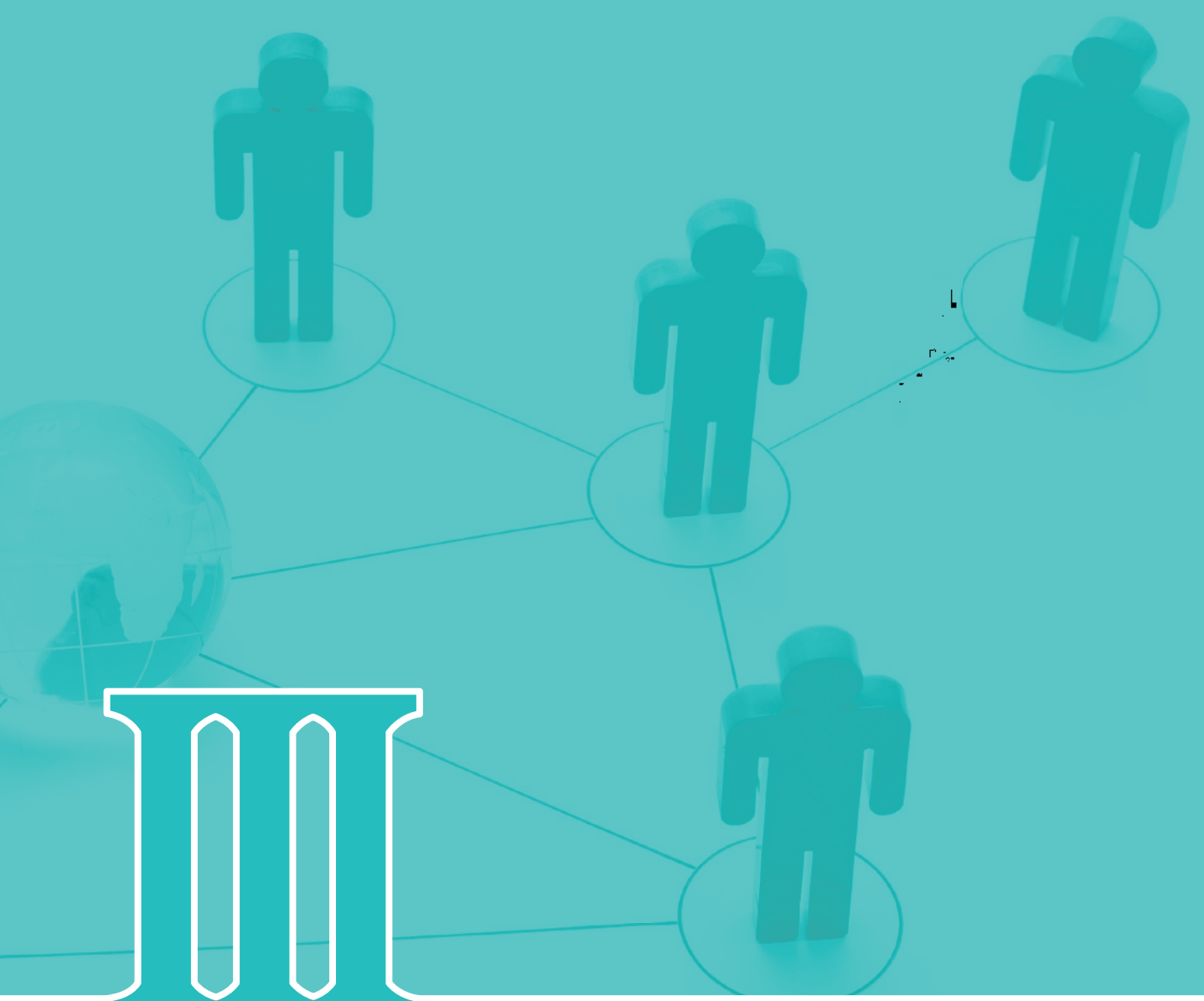
概要

開催日	2021年4月27日
開催地	オンライン、韓国・ソウル
主催	TCS
後援	朝鮮日報、朝日新聞、人民日報
テーマ	TCS設立10周年を迎えて：次の10年に向けた新たな日中韓パートナーシップのあり方
議題	1. TCSの業績と今後の日中韓協力について 2. 経済界の声：パンデミックにおける経済協力活性化への道筋 3. 次世代のエンパワーメント：日中韓の青少年コミュニティ形成
参加者	地方自治体、国際機関、大学などの関係者500人以上





日中韓三国協力事務局
2020年度年次報告書



ステークホルダーとの 交流及び協力

「締約国政府、及び必要に応じて他の国際機関、特に他の東アジアの協力のための仕組みとの連絡及び調整を行うこと。」

「日本国政府、中華人民共和国政府及び大韓民国政府の間の三者間協力事務局の設立に関する協定」第三条第1項 (b)

01 地域及び国際機関

TCSの主たる機能の1つは、「日本国政府、中華人民共和国政府及び大韓民国政府の間の三者間協力事務局の設立に関する協定」第三条第1項 (b) に従って、地域及び国際機関とのネットワークを形成・拡大することです。TCSは東アジア経済共同体 (EAEC) 構築というビジョンに向け、定期的な表敬訪問や協力事業を通じ、ASEANや東アジアビジネスカウンスル (EABC) のような地域パートナーとのネットワークを定着させる努力を続けています。また、国際場裡における三国協力を促進し、ネットワークを強化する取組みの一環として、東アジア以外の国際機関も含めた地域間対話を続けています。

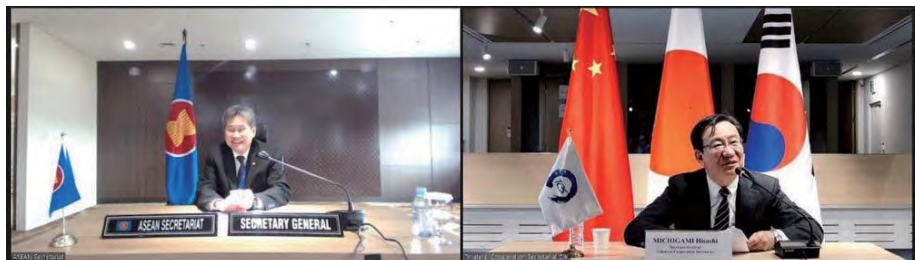
+ 地域機構



TCS事務局長、ASEAN事務総長とオンライン会議を実施

TCSの道上事務局長は2020年11月27日、ASEAN事務局 (ASEC) のリム・ジョク・ホイ事務総長とオンライン会議を行い、ASEAN + 3 (APT) 協力のさらなる促進に向けて、TCSとASECの今後の連携について意見交換を行いました。

道上事務局長は、11月14日にオンライン開催された第23回APT首脳会議の成功を祝し、APT協力やTCS・ASEC間の頻繁なコミュニケーションの重要性を強調しました。また、APT諸国間の相互理解と協力を強化し、具体的事業を模索していくため、ASECとのコミュニケーションを強化していきたいと述べました。リムASEC事務総長は、APT協力の促進に向けたTCSの努力を歓迎するとともに、TCSとの緊密なコミュニケーションと交流を維持し、共通の関心事項に関する協力事業を立案し、実施していきたいと述べました。



**国連アジア太平洋
経済社会委員会
(UNESCAP) 北
東アジア事務所長
によるTCS訪問**

2021年8月6日、国連アジア太平洋経済社会委員会（UNESCAP）北東アジア事務所のガンボルド・バーサンジャブ所長がTCSを訪問し、TCSの道上事務局長と協力事業について意見交換を行いました。UNESCAPとTCSは、環境、運輸・物流、経済、防災など活動分野が共通しており、両氏は、パートナーシップと相互交流をさらに強化していくことで一致しました。

02

公共団体及びビジネス団体

TCS事務局長、韓昇洙元韓国国務総理を表敬訪問

TCSの道上事務局長は2020年10月23日、韓昇洙（ハン・スンズ）元韓国国務総理を表敬訪問しました。道上事務局長と韓元国務総理は、多くの共通の課題の中で三国の協力レベルを引き上げる方法について意見を交わしました。また、防災、公衆衛生、気候変動、環境、デジタル経済の分野における三国協力を強化することにより地域の平和と繁栄を促進することが重要であるとの認識で一致しました。



13 学界

東京大学による TCSへの オンライン訪問

TCSは2021年8月11日、TCSをオンライン訪問した東京大学の教授と学生を迎え、TCSの役割と日中韓三国協力について意見交換を行いました。TCS職員から三国協力の歴史とTCSの取組みについての紹介があり、東京大学公共政策大学院の学生から新型コロナウイルス感染症が三国間の青少年交流に与える影響について発表がありました。その後、TCS職員と学生とのディスカッションでは、主にコロナ禍における困難や日中韓の持続的な青少年交流を推進するためのオンラインプラットフォームの活用について議論しました。

概要

開催日	2021年8月11日
開催地	オンライン
主催	TCS、東京大学
参加者	東京大学公共政策大学院（GraSPP）の西沢利郎教授、学部関係者1人、学生8人
テーマ	- 教育・交流事業が三国関係に与える影響 - コロナ禍で行われたキャンパスアジアプログラム参加者の経験



04

メディア及び広報

**日中韓三国協力
事務局（TCS）
10周年記念映像**

TCSは設立10周年を記念して、TCSの足跡と今後10年のビジョンを紹介する4分間の動画を制作しました。本動画は様々な10周年記念イベントで上映され、TCSの発展に大きく貢献した主要なパートナーに紹介されました。また、TCSの公式ウェブサイトで公開したほか、日中韓の様々なSNSにも投稿しました。こうした試みは、コミュニケーションをオンライン交流とSNSに頼らなければならないコロナ禍において、とても有効な広報手段となりました。

📄 10周年記念映像へのリンク: <https://10th.tcs-asia.org/10th/en/sub/02.php>



在ソウル中国 メディアの TCS訪問

2021年4月6日、TCSは中国メディアとの交流セッションをTCS国際会議場にて開催し、TCSの道上事務局長と曹事務次長が挨拶を述べました。中国メディアからは、人民日報、新華社通信、経済日報、中国中央電視台（CCTV）、中国国際放送（CRI）、中国新聞社（CNS）、人民日報オンラインのソウル特派員が参加し、雑誌「中国報道」とチャイナビジネスニュースの記者は中国からオンラインで参加しました。

挨拶の中で、道上事務局長は、TCS及び三国協力に関するこれまでの報道に対して感謝するとともに、今後も積極的にTCSのイベントへの取材を歓迎する旨を述べました。曹事務次長のプレゼンテーションでは、日中韓協力の成果とTCSのこれまでのあゆみを紹介しました。ディスカッションでは、ソウルでのメディアとの関係構築や今後の協力関係について、参加者から様々なコメントや提案、質問が寄せられました。最後に、TCS事務局へのガイドツアーが行われました。



TCS10周年記念 写真展

TCSは、設立10周年を記念する写真展を韓国・ソウルのチョンドン（貞洞）1928アートセンターにて開催しました。TCSの協議理事会の主催で2021年4月19日に行われた開会式には韓国外交部の金健（キム・ゴン）次官補、邢海明（シン・ハイミン）在韓国中国特命全権大使、そして相星孝一在韓国日本国特命全権大使が出席され、祝辞とともに、コロナ禍においてもTCSが三国協力を促進するための取組みを行っていることに対して感謝の意が表されました。

写真展は、TCSの歴史、日中韓政府間協議に対する支援、協力事業の開拓、三国協力の促進、インタラクティブサイトの5つのセクションで構成され、61点の写真と5本の動画が紹介されました。ここで紹介された作品は日中韓閣僚級会議、日中韓三国協力国際フォーラム（IFTC）、アジア国際青少年映画祭（AIYFF）など三国政府間協議の枠組みや旗艦事業に関するTCSの活動に焦点を当て、TCSの主な機能を紹介するものです。本展は大好評を博し、2021年6月21日から25日にかけて在韓国日本国大使館広報文化院で2回目の写真展が開催されました。

概要

開催日	2021年4月19日～28日、6月21日～25日
開催地	チョンドン（貞洞）1928アートセンター、在韓国日本国大使館広報文化院
参加者	観客1,300人以上、在韓外交団15人、日中韓の主要メディア
主な活動	TCS及び日中韓三国協力の紹介

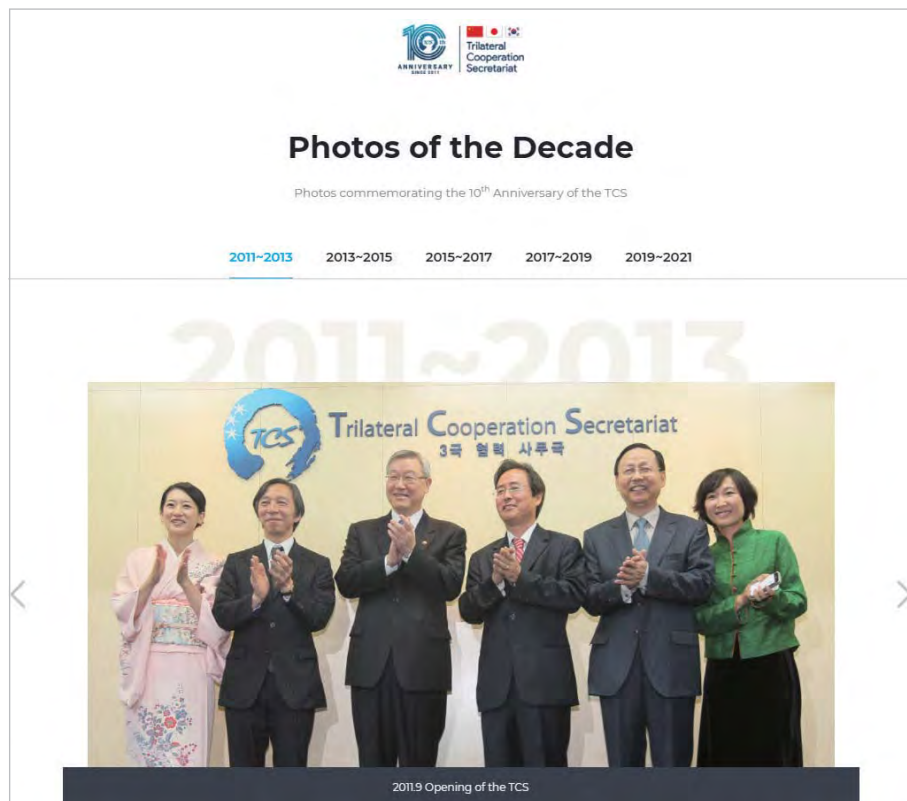


日中韓三国協力 事務局10周年記念 ウェブサイト

TCSは、設立10周年を記念する特別ウェブサイトを開設しました。TCSの成長とこれまでの足跡を紹介することにより、三国協力とTCSの活動に対する一般の認知度の向上と理解を促すことを目的としています。

10周年記念ウェブサイトは、TCS公式ホームページのメイン画面の10周年記念ロゴをクリックすることでご覧いただけます。「事務局長の挨拶」、「TCS10周年記念映像」、「写真で見るTCSの10年」、「10周年記念行事」の4部構成となっており、英語、中国語、日本語、韓国語の4つの言語に対応しています。

記念映像はTCSの10年間の成長と発展をまとめたものです。ほかにも記念写真展や様々な分野の懸案を議論するシンポジウムシリーズなどTCS設立10周年を記念して開催されたイベントの詳細情報を掲載しています。また、TCSは、特別ウェブサイトのリンクからアクセスできるSNSプロモーションイベントも実施しました。





日中韓三国協力事務局
2020年度年次報告書



W

データベースの構築、 研究及び出版

「協力案件を評価し及びこれらの案件に関する報告書を作成し、必要な文書をデータベースに収集し、年次進捗報告を承認のために三者委員会又は三箇国外相会議に提出すること。」

「三者間協力に関連する重要事項に関する調査を行い、事務局のウェブサイトを運営し、及び三者間協力についての理解を促進すること。」

「日本国政府、中華人民共和国政府及び大韓民国政府の間の三者間協力事務局の設立に関する協定」第三条第1項 (d) (e)

『日中韓三国協力進捗報告書』(2016~2019)

『日中韓三国協力進捗報告書』は、一年間に実施された三国協力の進捗状況を記録した年次報告書です。日中韓の関係省庁の承認を得て、三国の首脳会議、閣僚級会合、政府間実務者会議など、その年に開催された主要なイベントを記録しています。

2016~2019年度『日中韓三国協力進捗報告書』は三国協力の成果を記録したもので、政治・安全保障、経済、持続可能な開発・環境保護、社会・文化交流の分野における協力の進捗状況が分かるようになっています。



📄 ダウンロードリンク : <https://tcs-asia.org/en/data/publications.php>

2 『日中韓三国統計集』 (出版物・ウェブサイト)

TCSは2020年10月、『2019 日中韓三国統計集』を発刊しました。より多くの方に読んでいただくため、中国語、日本語、韓国語、英語の4つの言語で出版しました。この統計集は、図表やイラストなどを用いて、日中韓各国の包括的な発展動向と三国協力の重要性を示すデータを視覚化しています。



また、TCSは2021年6月、日中韓各国の発展動向を包括的に示し、三国の各種統計を統合・分析して他の地域経済圏と比較することにより三国協力の重要性を理解できるよう、三国統計ウェブページをTCSのホームページに開設しました。これにより、TCSが国内外の多様なソースから収集・処理した広範なデータを閲覧・ダウンロードできるようになりました。同ウェブページは、三国の様々な協議の枠組みを支援するうえで必要な各種統計データを提供するデータプールの役割を果たします。

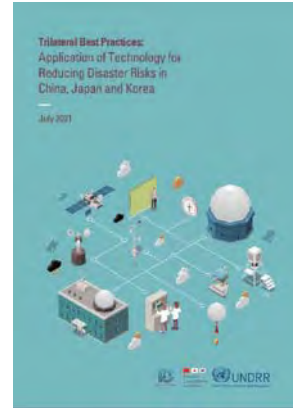


3 『日中韓ベスト・プラクティス ：防災のための最先端技術の応用』

この事例集には、日中韓における防災の最先端技術に関する14の応用事例が紹介されており、それに関連した経験、効果、結果、教訓、課題が示されています。

事例集は、第5回・第6回日中韓防災担当閣僚級会合の合意に基づくフォローアップ事業として、国連防災機関北東アジア事務所・災害軽減国際教育訓練研修所（UNDRR ONEA-GETI）、中国国家防災センター（NDRCC）、日本・アジア防災センター（ADRC）と協力してTCSが出版しました。

ダウンロードリンク：<https://tcs-asia.org/en/data/publications.php?gubun=2>



4

『中国報道』特別号：『日中韓三国 協力—新たな10年に向けて』



TCS設立10周年と日中韓三国協力を焦点を当てた記念出版物として、TCSと中国国際出版集団の共同で刊行されました。4カ国語（中国語、日本語、韓国語、英語）で刊行された今回の記念出版物は、日中韓の元大使、研究者、ジャーナリスト、市民社会の代表がTCS及び三国協力の成果とハイライトを振り返りつつ、新しい10年に向けた協力に関する提案と展望を寄稿しました。

10

『設立から10年の足跡
：日中韓三国協力事務局記念写真集』



TCS10周年を記念する写真集を刊行しました。全3種類（中国語-英語、日本語-英語、韓国語-英語）の写真集で、TCSの10年間の取組みと成果を紹介しています。日中韓首脳会議、閣僚級会合、政府間協議、政治・経済・社会・文化分野の協力事業を網羅しており、TCSと日中韓三国の推進力とダイナミズムを感じ取っていただけます。

📄 ダウンロードリンク : <https://tcs-asia.org/en/data/publications.php?gubun=5>

6

調査レポート『日中韓地方都市
トライアングル交流2020』

TCSは、2020年8月に調査レポート『日中韓地方都市トライアングル交流2020』を出版しました。本レポートは三国の地方レベルの交流事例、アプローチ及び進捗報告を地方交流関係者に提供することを目的とし、20組の都市交流グループ、5つの主要メカニズムと行事、そして交流に参加している55の都市をとりあげユニークな情報を網羅しています。日本語、中国語、韓国語、英語の4言語で出版され、以下のTCS公式ホームページにてダウンロードが可能です。



ダウンロードリンク : https://tcs-asia.org/data/etcData/PUB_jp_1618537259.pdf

7 『日中韓ハンドブック』



TCSは、2020年に『日中韓ハンドブック』の第3次改訂版（2013年第1版、2014年第2版）を出版しました。中国語、日本語、韓国語、英語で出版された同冊子は、三国の文化の特徴を紹介し、相互理解を深めることを目的としています。衣食住をはじめとする三国の伝統文化やライフスタイル、様々な分野における三国の類似点や独自性がわかりやすく記されています。

詳細については、TCS公式ホームページをご参照ください。本冊子は、以下のリンクからダウンロードしていただけます。

 ダウンロードリンク : <https://www.tcs-asia.org/en/data/publications.php?gubun=5>

2020年度TCS活動及び協力事業一覧

政府間協議メカニズム

政治

首脳会議 及び外交	第23回ASEAN+3（APT）首脳会議	14
非伝統的 安全保障	第5回日中韓サイバー政策協議	16
	日中韓原子力安全ウェブ情報交換会合	17
防災	2021日中韓防災担当実務者会議	18

経済・持続可能な開発

知的財産権 (IPR)	第20回日中韓特許庁長官会合	19
運輸・物流	第8回日中韓物流大臣会合	20
	第8回日中韓物流大臣会合の準備会合 (課長級会合)	21
	日中韓物流協力公式ウェブサイト	23
環境保護	第22回日中韓三カ国環境大臣会合の事 務レベル準備会合及び局長級会合	24
	海洋ごみに関するNOWPAP-TEMM (北西太平洋地域海行動計画及び 日中韓三カ国環境大臣会合) 合同ワー クショップ2020	25

社会・文化

文化	第12回日中韓文化大臣会合	26
	東アジア文化都市	28
	第13回日中韓文化コンテンツ産業 フォーラム	29
保健	第13回日中韓三国保健大臣会合	30
	第14回日中韓感染症フォーラム	31

協力事業

政治

	平和と繁栄のための済州フォーラム2020	34
	第5回日中韓三国協力シンクタンクネットワーク (NTCT) フォーカルポイント会議及び 2020年NTCTコンファレンス	35
	第11回北東アジア協力国際シンポジウム	36
	アジア地域協力フォーラム	37
	平和と繁栄のための済州フォーラム2021（TCS設立 10周年記念シンポジウムシリーズ第4弾）	38
	ボアオ・アジア・フォーラム	39

経済・持続可能な開発

	第6回日中韓産業博覧会	40
	韓・日・中地域間経済交流フォーラム2020	41
	太倉対話－日中韓産業協力	43
	東アジアと北東アジアにおける持続可能な開発の ための包括的地域協力に関する政策対話	44
	日中韓ビジネスカンファレンス	45
	グローバルユース気候チャレンジ	46
	2020日中韓地域協力国際フォーラム	47
	第7回日中韓協力ダイアログ	48
	2020日韓（青島）輸入商品博覧会	49
	第50回東アジアビジネスカウンシル会合	50
	TCS設立10周年記念シンポジウムシリーズ第2弾 - 日中韓における都市再生：傾向と事例	51
	日中韓企業家フォーラム2021（TCS設立10周年記念 シンポジウムシリーズ第3弾）	52
	TCS設立10周年記念シンポジウムシリーズ第5弾 - 日中韓における農業の発展と農村活性化～コロナを 超えて	53
	RCEP経済貿易協力ハイレベルフォーラム	54

- 日中韓投資協力セミナー 55
- 2021地域的な包括的経済連携（RCEP）国際貿易デジタル博覧会 56

社会・文化

- 2021日中韓発達障害芸術家特別展 57
- 第14回アジア国際青少年映画祭 58
- TCS設立10周年記念シンポジウムシリーズ第1弾
- 道上尚史TCS事務局長と張済国東西大学総長との
対談～三国協力和青少年交流～ 59
- 第1回日中韓職業教育国際協力フォーラム 60
- 2020日中韓メディアフォーラム 61
- 北京第二外国語学院東アジア文化研究センター開所式 62
- TCS設立10周年記念シンポジウムシリーズ第6弾
- 地方都市間における三国協力の推進 63
- 第13回北東アジア地域自治体連合（NEAR）総会 64
- 日中韓ジャーナリズムセミナー 65

部門横断的事業

- 日中韓三国協力国際フォーラム2021 66

ステークホルダーとの交流及び協力

- ASEAN事務総長とのオンライン会議 70
- 国連アジア太平洋経済社会委員会（UNESCAP）
北東アジア事務所長によるTCS訪問 71
- TCS事務局長、韓昇洙（ハン・スンス）元韓国国務総
理を表敬訪問 72
- 東京大学によるTCSへのオンライン訪問 73
- 日中韓三国協力事務局（TCS）10周年記念映像 74
- 在ソウル中国メディアのTCS訪問 75
- TCS10周年記念写真展 76
- 日中韓三国協力事務局10周年記念ウェブサイト 77

データベースの構築、研究及び出版

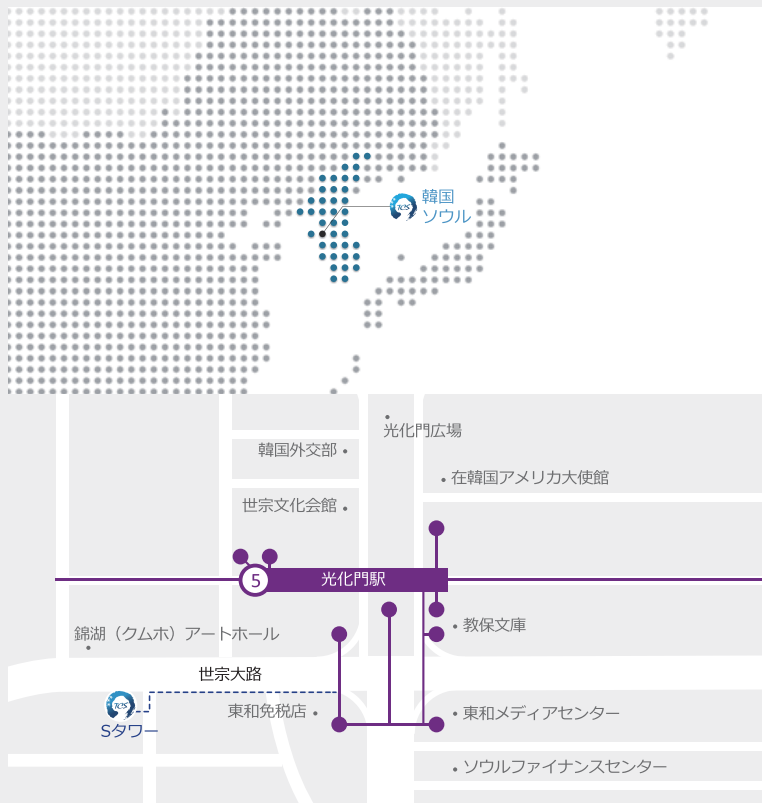
- 日中韓三国協力進捗報告書（2016～2019） 80
- 日中韓三国統計集（出版物・ウェブサイト） 81
- 日中韓ベスト・プラクティス：防災のための最先端技
術の応用 82
- 「中国報道」2021年8月特別号 82
- TCS10周年記念写真集 83
- 調査レポート - 日中韓地方都市トライアングル交流
2020 84
- 日中韓ハンドブック 85

英文略称一覽

ADRC	Asian Disaster Reduction Center	GYCC	Global Youth Climate Challenges
AEAS	Academy of East Asian Studies	GSS	General Services Staff
AIYFF	Asia International Youth Film Festival	ICT	Information Communications Technology
APT	ASEAN Plus Three	IFTC	International Forum for Trilateral Cooperation
ASEAN	Association of Southeast Asian Nations	IoT	Internet of Things
BFA	Boao Forum for Asia	IP	Intellectual Property
BISU	Beijing International Studies University	IPR	Intellectual Property Rights
CAO	Cabinet Office of Japan	JAPIT	The Association for the Promotion of International Trade, Japan
CAMPUS Asia	Collective Action for Mobility Program of University Students in Asia	JEF	Japan Economic Foundation
CCEA	Culture City of East Asia	JETRO	Japan External Trade Organization
CCPIT	China Council for the Promotion of International Trade	JFIR	Japan Forum on International Relations
CCOIC	China Chamber of International Commerce	JPO	Japan Patent Office
CFAU	China Foreign Affairs University	KCFA	Korea-China Friendship Association
CIFCA	Chian International Friendship Cities Association	KINS	Korea Institute for Nuclear Safety
CIRD	China Institute for Reform and Development	KIPO	Korean Intellectual Property Office
CJK	China-Japan-ROK	KITA	Korea International Trade Association
CLAIR	Council of Local Authorities for International Relations	KJEA	Korea-Japan Economic Association
CPAFFC	Chinese People's Association for Friendship with Foreign Countries	KNDA	Korea National Diplomatic Academy
DG	Director-General	KNPA	Korea National Police Agency
DGM	Directors-General Meeting	MCST	Ministry of Culture, Sports and Tourism of the ROK
DSG(s)	Deputy Secretary-General(s)	MEE	Ministry of Ecology and Environment of China, former MEP
EABC	East Asia Business Council	MEP	Ministry of Environmental Protection of China
EAEC	East Asia Economic Community	METI	Ministry of Economy, Trade and Industry of Japan
FAO	Food and Agriculture Organization	MEXT	Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan
FKI	Federation of Korean Industries	MHLW	Ministry of Health, Labor and Welfare of Japan
FTA	Free Trade Agreement	MOC	Memorandum of Cooperation; Ministry of Culture
FY	Fiscal Year	MOE	Ministry of Education; Ministry of the Environment
GACC	General Administration of Customs of China	MOFA	Ministry of Foreign Affairs
GAOK	Governors Association of Korea	MOFCOM	Ministry of Commerce of China
GrasPP	Graduate School of Public Policy	MOHW	Ministry of Health and Welfare
		MOIS	Ministry of the Interior and Safety of the ROK

MOLIT	Ministry of Land, Infrastructure and Transport of the ROK	TCVD	Trilateral Common Vocabulary Dictionary
MOT	Ministry of Transport	TEDMM	Trilateral Education Ministers' Meeting
MOTIE	Ministry of Trade, Industry and Energy of the ROK	TEMM	Tripartite Environment Ministers Meeting
MSIT	Ministry of Science and ICT of the ROK	TEPCO	Tokyo Electric Power Company
MSMEs	Micro, Small, and Medium Enterprises	THMM	Tripartite Health Ministers' Meeting
NCCA	National Council on Climate and Air Quality	TJEP	Trilateral Journalist Exchange Program
NEAL-NET	Northeast Asia Logistics Information Service Network	TRIPO	Trilateral IP Offices
NDRCC	National Disaster Risk Reduction Center of China	TRM	Top Regulators Meeting
NHC	National Health Commission of China	UNDRR ONEA-GETI	United Nations Office for Disaster Risk Reduction- Office for Northeast Asia& Global Education and Training Institute
NOWPAP	Northwest Pacific Action Plan	UNEP	United Nations Environment Program
NRA	Nuclear Regulation Authority	UNESCAP	United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific
NSSC	Nuclear Safety and Security Commission	UNESCO	United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
NTCT	Network of Trilateral Cooperation Think-Tanks	UNGGE	United Nations Group of Governmental Experts
OSEAN	Our Sea of Asian Network	WGEPR	Working Group on Emergency Preparedness and Response
PS	Professional Staff	WGHRD	Working Group on Human Resources Development
RCEP	Regional Comprehensive Economic Partnership	WGOIS	Working Group on Online Information Sharing
ROK	Republic of Korea		
SBC	SME Business Corporation		
SBS	Seoul Broadcasting System		
SDGs	Sustainable Development Goals		
SG	Secretary-General		
SIPO	State Intellectual Property Office of China		
SIS	School of International Studies		
SME(s)	Small and Mid-size Enterprise(s)		
SMRJ	SME Support Japan		
TAMM	Trilateral Agricultural Minister's Meeting		
TBNR	Trilateral Business Seminar & Networking Reception		
TCF	Trilateral Cooperation Fund		
TCMM	Trilateral Culture Ministers' Meeting		
TCS	Trilateral Cooperation Secretariat		
TCSC	Trilateral Cooperation Studies Center		

TCSへのアクセス





日中韓三国協力事務局 2020年度年次報告書

2022年発行

ソウル市鍾路区新門安路82 Sタワー 20階 03185

T +82-2-733-4700 F +82-2-733-2525 E tcs@tcs-asia.org

制作・編集 林美蓮（リン・メイリエン）、黄婉迪（フアン・ワンディー）、寧傑（ニン・ジエ）、申定民（シン・ジョンミン）、飯田彩恵子、小山恵鼓、酒井麻里奈、澤山凌介、深山信嗣

李冠玉（リー・グワンユー）、山本真澄、
金知恩（キム・ジウン）、文龍（ウエン・ロン）


監修 欧渤芊（オウ・ボーチエン）、
白範欽（ペク・ポムフム）、坂田奈津子


Copyright © 2022 Trilateral Cooperation Secretariat


無断複製・転載を禁じます。



www.tcs-asia.org

 한일중 3국협력사무국

 日中韓三國協力事務局

 中日韩合作秘书处

    Trilateral Cooperation Secretariat

